

平成23年県民意識調査結果の概要

平成23年10月

宮 城 県

目 次

I	調査の趣旨	概-1
II	調査の概要	概-1
III	調査結果の概要	
1	「宮城の将来ビジョン」：政策推進の基本方向に関する調査結果	概-2
(1)	富県宮城の実現 ～県内総生産10兆円への挑戦～ (取組 1～12)	概-2
(2)	安心と活力に満ちた地域社会づくり (取組13～26)	概-5
(3)	人と自然が調和した美しく安全な県土づくり (取組27～33)	概-8
(4)	各取組における特に優先すべきと思う項目調査結果 (取組 1～33)	概-11
2	特定項目(テーマ)調査結果	概-19
IV	参考資料	
1	回答者属性一覧	概-23
2	重視度集計表	概-24
3	満足度集計表	概-25

I 調査の趣旨

当調査は、行政活動の評価に関する条例(平成13年宮城県条例第70号)第7条第1項及び第2項の規定に基づいて実施し、その結果を取りまとめ、公表するものです。

II 調査の概要

1 調査目的

「宮城の将来ビジョン」に定める33の取組について、県民がどの程度重視しているか、満足しているか、また特にどのようなことを優先的に取り組むべきと考えているかなどを調査し、県の政策評価・施策評価や企画立案に活用します。

2 調査対象

宮城県に居住する20歳以上の男女 4,000人(選挙人名簿から無作為抽出)

3 調査方法

郵送方式

4 調査期間

平成23年1月14日(金)から平成23年2月3日(木)まで

5 調査項目

- 「宮城の将来ビジョン」に定める33の取組に関する5項目(認知度、関心度、重視度、満足度及び特に優先すべきと思う項目)
- 特定項目(「地産地消」、「宮城の治安」、「暮らしと環境」、「富県宮城の実現」)
- 回答者属性及び調査方法等に関する項目

6 回収結果

- 回収数 2,053通
- 回収率 51.33%

7 調査結果の見方

- 比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
このため、百分率の計が100%にならないことがあります。
- 本調査は無作為抽出調査であるため、調査結果を見る際には、母集団から標本(調査対象)を抽出することによって生じる「標本誤差(母集団全体を調査した場合に得られる真の値との差)」を考慮する必要があります。
今回の調査結果の標本誤差は、約±2%と見ることができます。

(例: 今回の調査結果において、設問中の選択肢の「重要」の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は約±2%以内(真の値が58.0~62.0%以内にある)と見ることができます。)



Ⅲ 調査結果の概要

今回の本調査における結果は次のとおりです。

1 「宮城の将来ビジョン」: 政策推進の基本方向に関する調査結果

「宮城の将来ビジョン」で定めている政策推進の3つの基本方向を構成する33の取組ごとに「重視度」及び「満足度」を調査したところ、次のような結果となりました。

(1) 富県宮城の実現 ～県内総生産 10 兆円への挑戦～

政策推進の基本方向・課題		取組
富県宮城の実現 富県宮城の 10兆円への 挑戦	①育成・誘致による県内製造業の集積促進	取組 1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興
		取組 2 産学官の連携による高度技術産業の集積促進
		取組 3 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興
	②観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	取組 4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興
		取組 5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現
	③地域経済を支える農林水産業の競争力強化	取組 6 競争力ある農林水産業への転換
		取組 7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保
	④アジアに開かれた広域経済圏の形成	取組 8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進
		取組 9 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成
	⑤産業競争力の強化に向けた条件整備	取組10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保
		取組11 経営力の向上と経営基盤の強化
		取組12 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備

調査結果の特徴

【重視度】

○県全体の重視度を見ると、12 取組中 4 取組(「取組 1: 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興(70.3%)」、「取組 3: 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興(73.8%)」、「取組 5: 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現(72.6%)」、「取組 7: 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保(73.2%)」)で高重視群(「重要」、「やや重要」と回答した者の割合)が7割を超えています。

一方、高重視群が6割を下回った取組は、12 取組中 4 取組(「取組 2: 産学官の連携による高度技術産業の集積促進(57.2%)」、「取組 4: 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興(47.6%)」、「取組 8: 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進(38.1%)」、「取組 11: 経営力の向上と経営基盤の強化(54.1%)」)となっています。また、12 取組中 8 取組で「わからない」とする回答が2割を超えており、このうち「取組 4」「取組 8」については3割を超えています。(図1-1-1)

○属性別の高重視群について、県全体との主な差異を見ると、全体として「取組 3」と「取組 7」のどちらかが最も高くなっているのに対し、【仙台圏域】【登米圏域】については、「取組 5」が最も高くなっています。(表1-1)

○県全体の今回と前回調査(平成 21 年 3 月実施)との主な差異を見ると、「取組 9: 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成」の高重視群が約 14 ポイント増加(51.3%→64.9%)、「取組 3」が 6 ポイント減少(79.8%→73.8%)しています。(表1-1)

【満足度】

○県全体の満足度を見ると、12 取組中 6 取組で満足群(「満足」、「やや満足」と回答した者の割合)が4割を超えており、このうち「取組 5: 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現(54.4%)」、「取組 9: 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成(50.8%)」については5割を超えています。一方、満足群が3割を下回った取組は、「取組 4: 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興(29.4%)」、「取組 8: 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進(24.8%)」、「取組 11: 経営力の向上と経営基盤の強化(28.4%)」となっています。

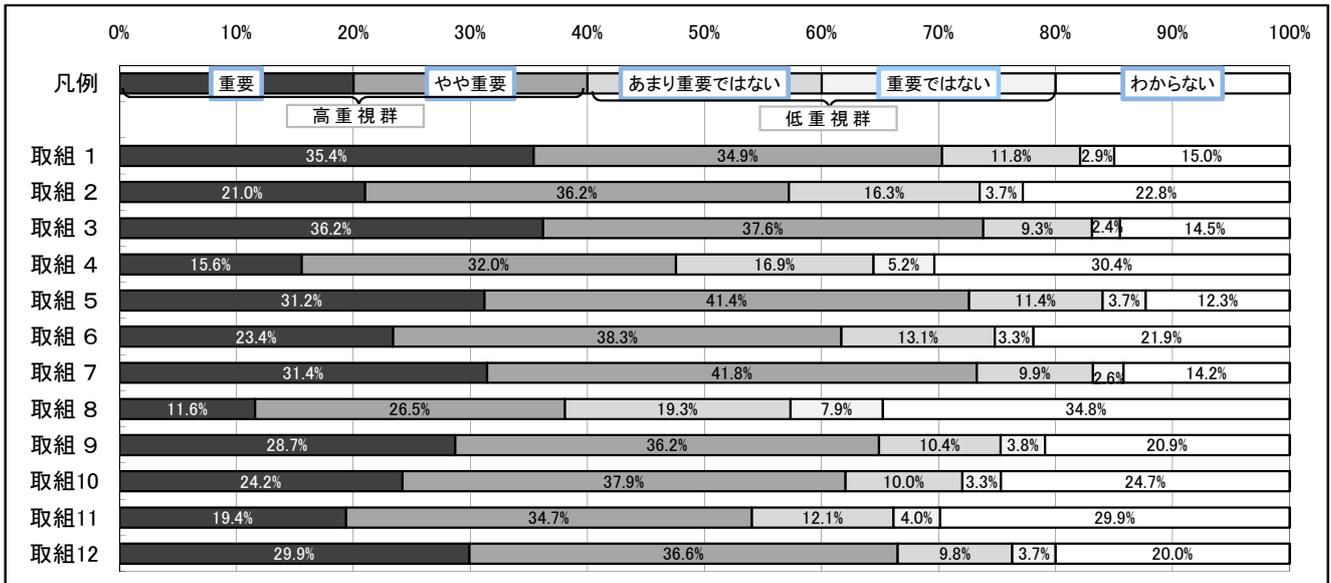
また、12 取組中 5 取組で「わからない」とする回答が4割を超えており、このうち「取組 8(52.7%)」については5割を超えています。(図1-2-1)

○属性別の満足群について、県全体との主な差異を見ると、県全体では「取組 5」が最も高くなっているのに対し、【男性】【大崎圏域】では「取組 9」が最も高くなっています。

○県全体の今回と前回調査との主な差異を見ると、「取組 1: 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興」の満足群が約 6 ポイント増加(43.4%→49.2%)、「取組 7: 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保」が約 4 ポイント増加(45.4%→49.6%)、「取組 9」が約 19 ポイント増加(31.7%→50.8%)、「取組 12: 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備」が約 6 ポイント増加(42.8%→48.7%)しています。(表1-2)

【1-1】 重視度割合データ（富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～〈取組1～12〉）

＜ 図1-1-1 重視度割合（全回答） ＞



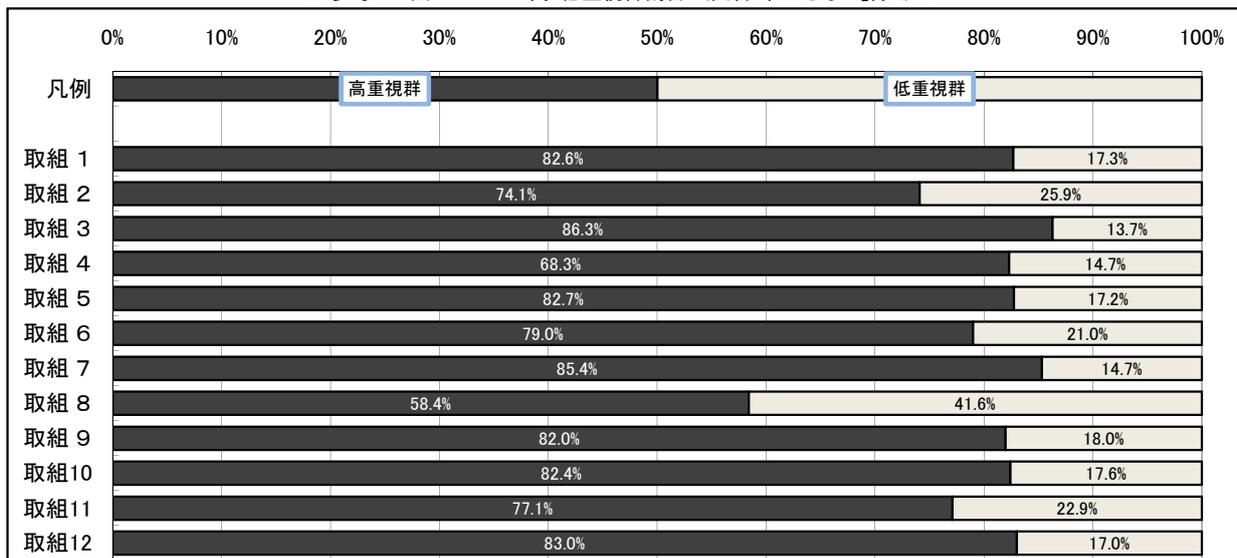
※本図は、全回答（「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」、「わからない」）について、それぞれの割合を表示したものです。

＜ 表1-1 高重視群一覧（回答者属性別） ＞

取組	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組 1	70.3%	66.9%	75.6%	65.4%	68.6%	74.3%	74.0%	72.0%	69.2%	72.1%	70.4%	71.4%	66.5%
取組 2	57.2%	55.3%	63.4%	51.5%	53.9%	64.7%	59.0%	59.1%	57.0%	59.3%	58.8%	54.0%	57.8%
取組 3	73.8%	79.8%	76.0%	72.0%	74.3%	73.8%	74.8%	72.0%	70.4%	75.3%	74.4%	76.0%	78.8%
取組 4	47.6%	50.7%	53.3%	42.3%	44.5%	54.5%	49.0%	47.4%	49.8%	49.5%	46.4%	44.8%	50.2%
取組 5	72.6%	73.3%	74.4%	71.7%	73.0%	73.4%	75.9%	76.4%	68.4%	70.5%	76.5%	74.9%	73.1%
取組 6	61.7%	65.0%	67.6%	56.4%	58.2%	69.7%	61.5%	52.9%	62.6%	62.9%	60.6%	64.2%	72.1%
取組 7	73.2%	75.7%	73.3%	73.1%	71.1%	77.5%	76.8%	71.4%	74.2%	73.6%	73.5%	75.5%	69.5%
取組 8	38.1%	38.8%	43.7%	33.2%	33.7%	47.7%	41.6%	41.3%	34.7%	42.0%	39.9%	36.3%	31.9%
取組 9	64.9%	51.3%	74.4%	56.9%	63.0%	70.2%	59.8%	63.9%	65.1%	68.6%	66.2%	65.8%	70.9%
取組 10	62.1%	64.2%	66.6%	58.2%	60.6%	66.0%	61.6%	66.7%	65.2%	62.4%	60.6%	59.5%	62.6%
取組 11	54.1%	57.1%	61.9%	46.5%	53.6%	55.2%	59.4%	49.8%	53.8%	53.0%	56.5%	51.7%	57.6%
取組 12	66.5%	66.6%	75.5%	58.9%	65.8%	69.6%	73.4%	64.0%	64.6%	66.1%	67.9%	69.5%	67.3%

※本表は、全回答に占める高重視群（「重要」、「やや重要」と回答した者）の割合を属性別に表示したものです。

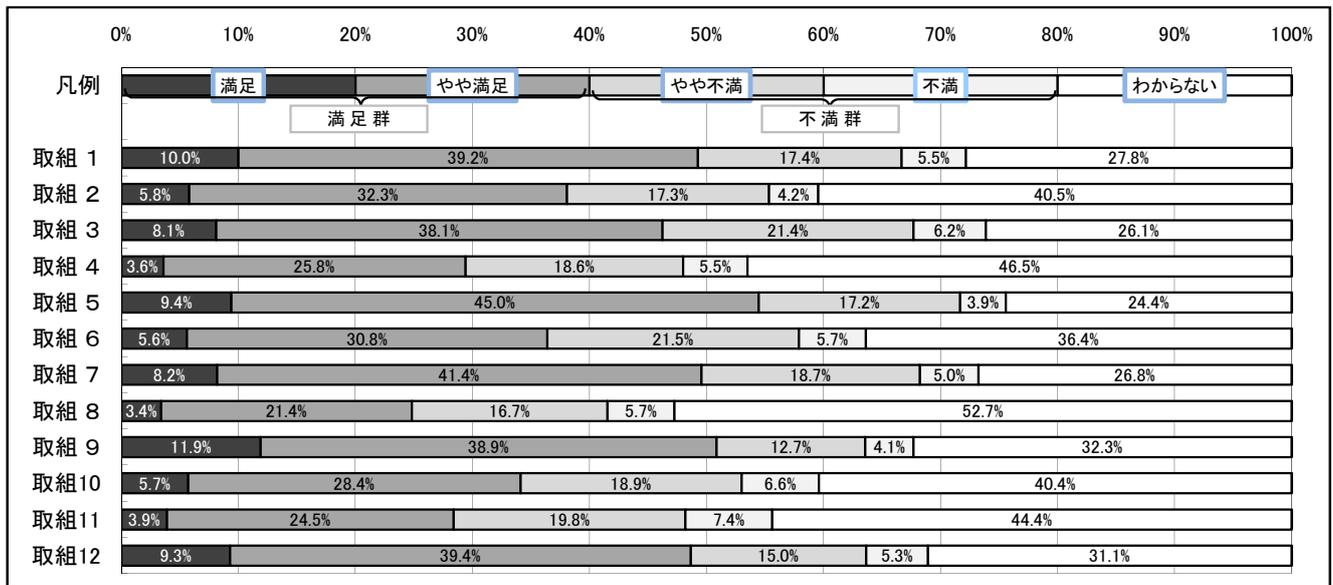
＜ 参考：図1-1-2 高・低重視群割合（回答「わからない」除く） ＞



※本図は、全回答から「わからない」を除き、重視度を評価した回答者について高重視群と低重視群（「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した者）の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

【1-2】 満足度割合データ （富県宮城の実現 ～県内総生産10兆円への挑戦～ <取組1～12>）

< 図1-2-1 満足度割合（全回答） >



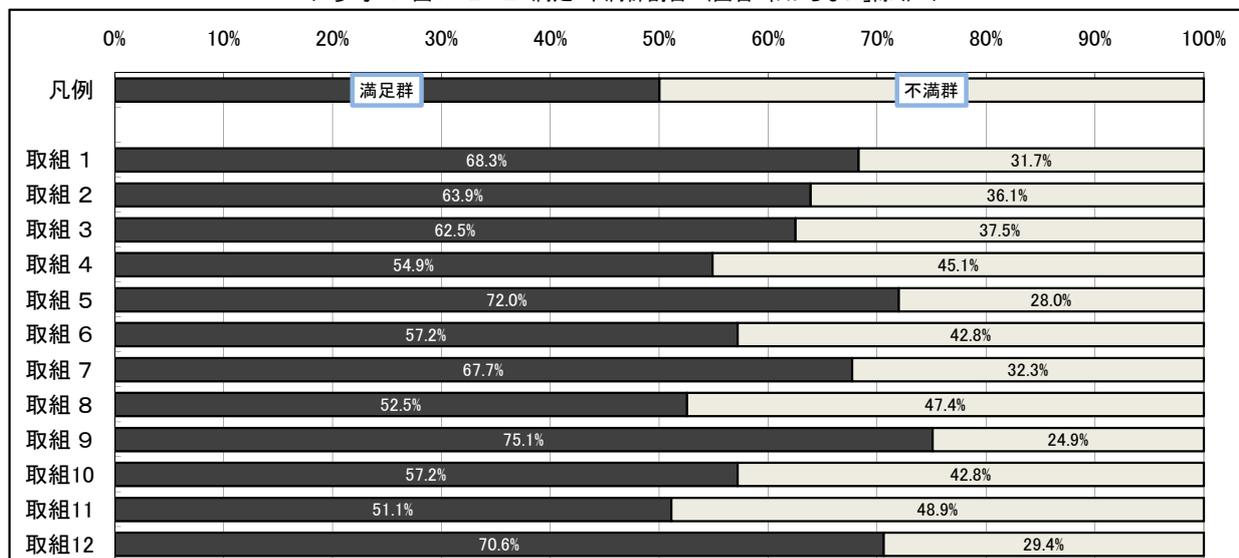
※本図は、全回答(「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

< 表1-2 満足群一覧（回答者属性別） >

	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組 1	49.2%	43.4%	55.2%	43.7%	43.9%	60.7%	53.4%	45.9%	50.4%	54.4%	54.6%	44.3%	43.0%
取組 2	38.1%	35.0%	42.9%	33.2%	31.5%	51.9%	39.6%	37.6%	39.6%	43.5%	39.3%	32.5%	35.3%
取組 3	46.2%	50.0%	46.5%	46.1%	43.2%	53.5%	45.6%	42.7%	44.6%	53.5%	50.9%	42.3%	46.4%
取組 4	29.4%	28.8%	34.1%	25.2%	24.2%	41.4%	30.8%	28.9%	31.9%	32.6%	31.1%	24.4%	26.9%
取組 5	54.4%	52.6%	55.1%	54.9%	51.4%	62.7%	60.1%	56.4%	50.2%	58.9%	62.2%	48.7%	51.1%
取組 6	36.4%	39.8%	37.7%	36.0%	32.9%	45.7%	36.1%	32.7%	36.7%	40.2%	37.9%	36.1%	40.9%
取組 7	49.6%	45.4%	46.9%	52.4%	46.5%	57.0%	50.0%	52.4%	46.2%	55.6%	54.5%	46.9%	45.1%
取組 8	24.8%	22.3%	28.3%	21.8%	20.1%	34.8%	28.0%	25.9%	24.7%	27.3%	27.7%	20.6%	19.3%
取組 9	50.8%	31.7%	58.9%	43.4%	46.4%	60.4%	50.0%	48.1%	52.3%	54.6%	58.6%	47.3%	46.4%
取組 10	34.1%	31.8%	35.6%	32.9%	30.0%	43.2%	35.3%	35.2%	36.2%	40.1%	35.0%	30.8%	27.3%
取組 11	28.4%	26.5%	32.7%	24.6%	24.6%	37.3%	32.1%	25.4%	31.1%	31.9%	31.4%	23.5%	24.6%
取組 12	48.7%	42.8%	57.8%	40.6%	45.1%	57.8%	56.7%	49.8%	49.0%	50.8%	54.0%	47.1%	38.2%

※本表は、全回答に占める満足群(「満足」、「やや満足」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

< 参考：図1-2-2 満足・不満群割合（回答「わからない」除く） >



※本図は、全回答から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者について満足群と不満群(「やや不満」、「不満」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

(2) 安心と活力に満ちた地域社会づくり

政策推進の基本方向・課題		取組
安心と活力に満ちた地域社会づくり	⑥子どもを生き育てやすい環境づくり	取組13 次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり
		取組14 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成
	⑦将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり	取組15 着実な学力向上と希望する進路の実現
		取組16 豊かな心と健やかな体の育成
		取組17 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり
	⑧生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	取組18 多様な就業機会や就業環境の創出
		取組19 安心できる地域医療の充実
		取組20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり
		取組21 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり
		取組22 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現
⑨コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	取組23 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	
	取組24 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	
⑩だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	取組25 安全で安心なまちづくり	
	取組26 外国人も活躍できる地域づくり	

調査結果の特徴

【重視度】

○県全体の重視度を見ると、14 取組中 10 取組で高重視群(「重要」,「やや重要」と回答した者の割合)が7割を超えており、このうち「取組 13:次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり(88.1%)」,「取組 19:安心できる地域医療の充実(86.9%)」,「取組 21:高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり(84.2%)」については8割を超えています。

一方、高重視群が 6 割を下回った取組は、「取組 23:生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興(52.2%)」,「取組 24:コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実(50.2%)」,「取組 26:外国人も活躍できる地域づくり(40.3%)」となっています。

また、14 取組中 4 取組で「わからない」とする回答が2割を超えています。(図2-1-1)

○属性別の高重視群について、県全体との主な差異を見ると、県全体では「取組 13」が最も高くなっているのに対し、【男性】【仙南圏域】【仙台圏域】では「取組 19」が最も高く、【65 歳以上】では「取組 21」が最も高くなっています。(表2-1)

○県全体の今回と前回調査(平成 21 年 3 月実施)との高重視群の主な差異を見ると、「取組 16:豊かな心と健やかな体の育成」の高重視群が約 4 ポイント減少(81.6%→77.5%)、「取組 24」が約 15 ポイント減少(65.4%→50.2%)、「取組 25:安全で安心なまちづくり」が約 11 ポイント減少(75.6%→64.2%)、「取組 26:外国人も活躍できる地域づくり」が約 5 ポイント減少(45.6%→40.3%)しています。(表2-1)

【満足度】

○県全体の満足度を見ると、14 取組中 6 取組で満足群(「満足」,「やや満足」と回答した者の割合)が 4 割を超えており、一方、満足群が 3 割を下回った取組は、14 取組中 2 取組(「取組 24:コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実(28.0%)」,「取組 26:外国人も活躍できる地域づくり(26.2%)」)となっています。

また、14 取組中 4 取組で「わからない」とする回答が 4 割を超えており、このうち「取組 26」については、その割合が 5 割を超えています。(図2-2-1)

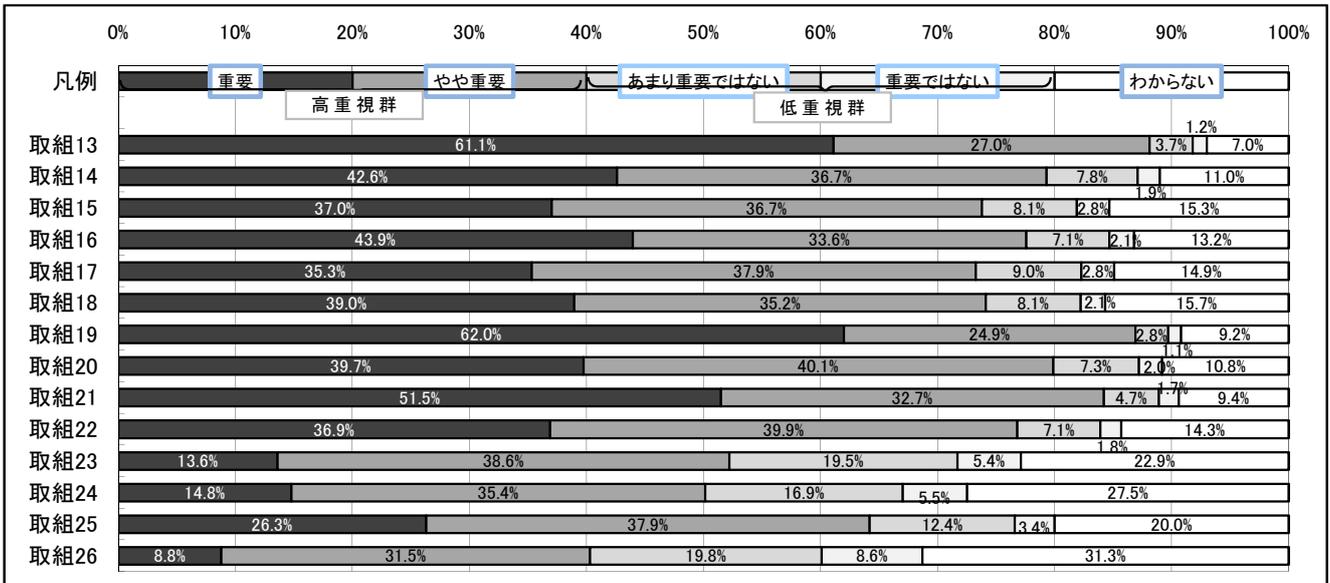
○属性別の満足群について、県全体との主な差異を見ると、県全体では「取組 20:生涯を豊かに暮らすための健康づくり」が最も高くなっているのに対し、【女性】【仙台圏域】【気仙沼・本吉圏域】については、「取組 14:家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成」が最も高くなっています。(表2-2)

○県全体の今回と前回調査との主な差異を見ると、「取組 17:児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり」の満足群が約 5 ポイント増加(38.7%→43.2%)しています。(表2-2)



【2-1】 重視度割合データ（安心と活力に満ちた地域社会づくり <取組13~26>）

< 図2-1-1 重視度割合（全回答） >



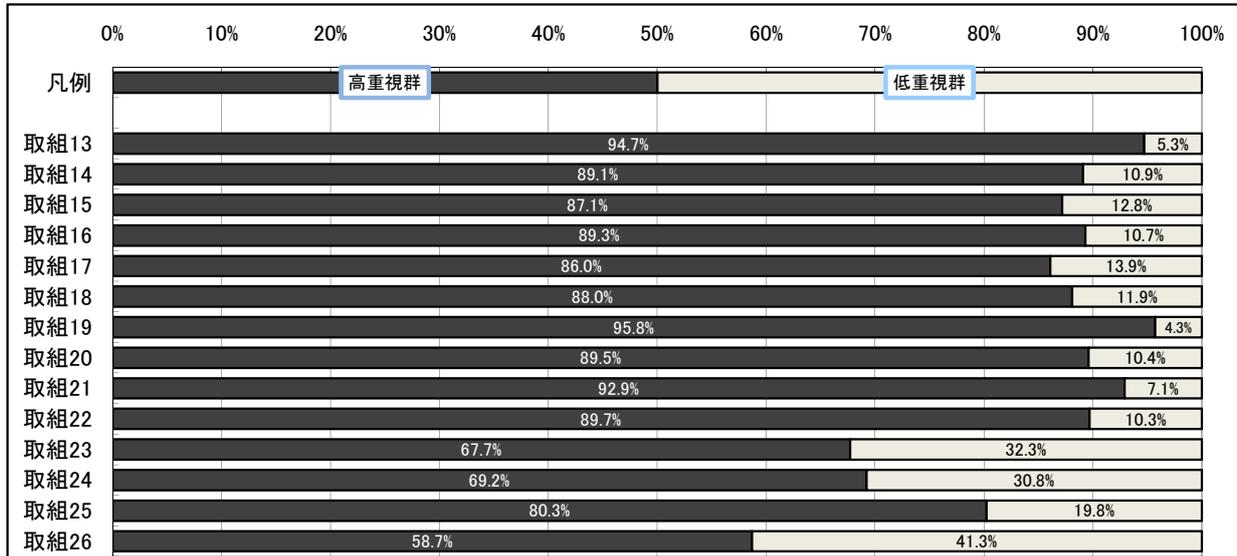
※本図は、全回答（「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」、「わからない」）について、それぞれの割合を表示したものです。

< 表2-1 高重視群一覧（回答者属性別） >

取組	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組13	88.1%	87.4%	87.3%	89.5%	88.7%	87.9%	86.7%	87.6%	88.7%	89.8%	89.9%	89.9%	89.7%
取組14	79.3%	81.7%	77.4%	81.5%	78.5%	81.4%	79.5%	82.6%	78.3%	80.2%	79.9%	76.0%	83.1%
取組15	73.7%	75.0%	73.4%	74.4%	72.9%	76.5%	74.2%	71.3%	74.6%	74.4%	77.1%	73.4%	76.0%
取組16	77.5%	81.6%	76.2%	79.1%	77.6%	78.1%	77.8%	79.3%	79.9%	73.1%	81.9%	77.8%	76.5%
取組17	73.2%	73.8%	72.8%	74.1%	72.2%	76.7%	75.4%	73.6%	72.1%	75.6%	77.4%	71.1%	72.2%
取組18	74.2%	70.9%	76.6%	72.2%	74.7%	73.8%	79.4%	77.3%	74.4%	75.8%	75.1%	69.4%	73.4%
取組19	86.9%	89.1%	87.7%	86.7%	86.6%	88.6%	88.2%	88.4%	86.5%	85.3%	89.6%	88.0%	88.7%
取組20	79.8%	80.6%	79.5%	80.7%	78.2%	84.2%	81.7%	80.8%	79.8%	79.7%	82.6%	77.9%	80.2%
取組21	84.2%	83.1%	83.9%	84.6%	81.3%	90.5%	85.8%	86.1%	84.7%	82.7%	85.6%	83.8%	84.5%
取組22	76.8%	79.3%	77.3%	76.6%	74.9%	81.2%	77.3%	78.6%	74.4%	78.9%	77.1%	78.9%	75.1%
取組23	52.2%	52.5%	52.5%	52.1%	49.7%	58.0%	56.0%	59.3%	49.4%	50.4%	52.6%	52.6%	48.5%
取組24	50.2%	65.4%	54.2%	46.9%	47.2%	56.8%	56.4%	53.9%	50.6%	47.6%	47.4%	54.3%	46.7%
取組25	64.2%	75.6%	67.6%	61.7%	63.8%	66.3%	68.8%	64.9%	64.9%	60.3%	67.2%	65.5%	62.8%
取組26	40.3%	45.6%	45.5%	35.9%	38.9%	43.9%	45.8%	41.3%	41.6%	38.3%	39.4%	39.3%	40.3%

※本表は、全回答に占める高重視群（「重要」、「やや重要」と回答した者）の割合を属性別に表示したものです。

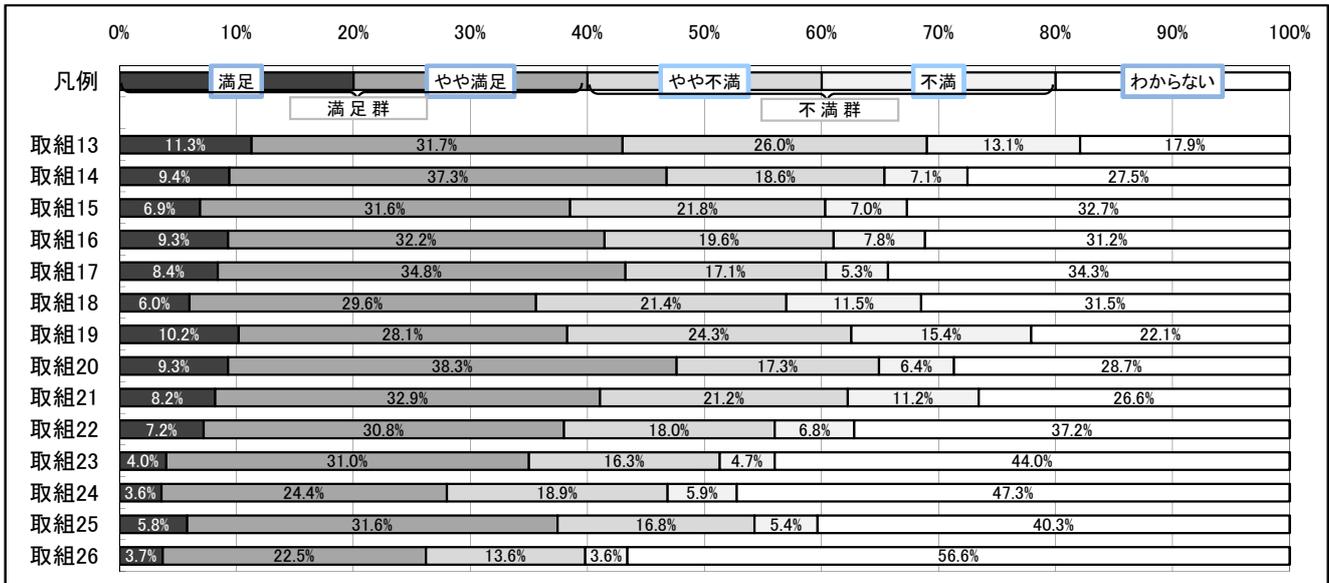
< 参考：図2-1-2 高・低重視群割合（回答「わからない」除く） >



※本図は、全回答から「わからない」を除き、重視度を評価した回答者について高重視群と低重視群（「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した者）の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

【2-2】 満足度割合データ (安心と活力に満ちた地域社会づくり <取組13~26>)

< 図2-2-1 満足度割合 (全回答) >



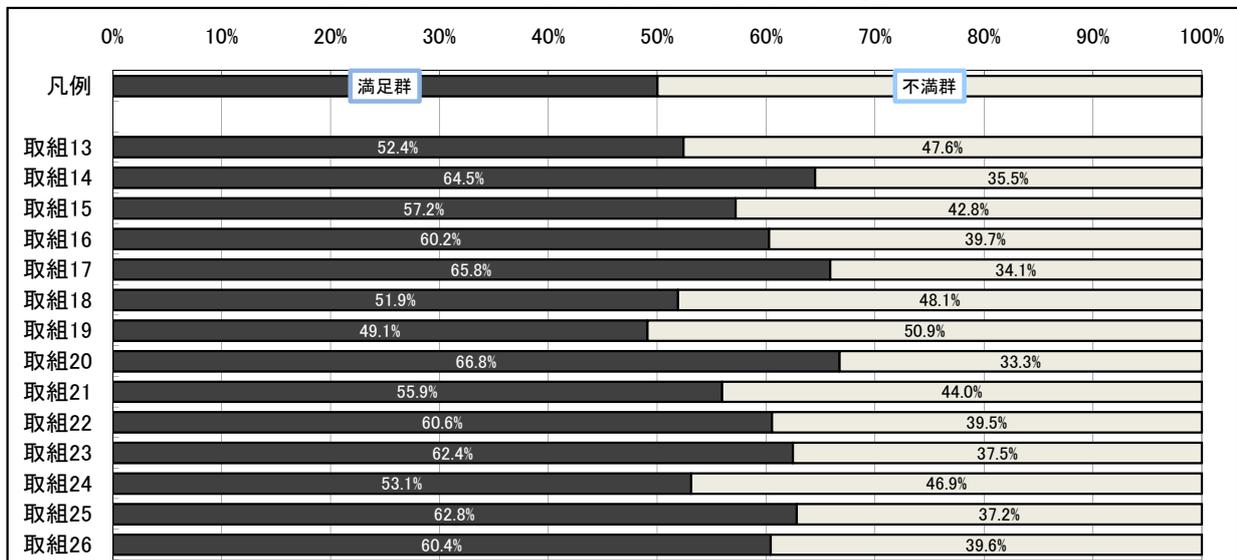
※本図は、全回答(「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

< 表2-2 満足群一覧 (回答者属性別) >

	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組13	43.0%	41.5%	42.6%	43.7%	37.1%	55.9%	42.2%	44.3%	44.6%	47.4%	40.9%	42.3%	42.5%
取組14	46.7%	44.9%	44.2%	49.7%	42.3%	57.5%	46.2%	48.8%	49.1%	50.3%	48.7%	43.3%	46.2%
取組15	38.5%	36.8%	39.4%	38.5%	34.5%	48.8%	35.1%	39.6%	40.3%	44.5%	40.2%	35.9%	38.1%
取組16	41.5%	39.5%	40.9%	42.2%	36.8%	52.2%	42.0%	42.5%	42.9%	43.7%	45.0%	36.4%	41.1%
取組17	43.2%	38.7%	44.5%	43.3%	40.4%	51.3%	44.8%	44.0%	40.4%	50.6%	47.7%	38.3%	44.6%
取組18	35.6%	31.7%	39.3%	32.6%	30.7%	47.1%	33.4%	37.2%	34.6%	43.9%	40.0%	29.0%	33.1%
取組19	38.3%	35.7%	40.8%	35.9%	31.4%	53.4%	41.5%	38.1%	40.5%	47.7%	32.7%	36.1%	34.5%
取組20	47.6%	44.4%	47.9%	47.8%	42.7%	58.9%	48.8%	45.5%	49.5%	52.4%	50.0%	45.9%	44.9%
取組21	41.1%	38.6%	43.1%	39.0%	33.5%	56.8%	36.2%	40.6%	41.3%	50.4%	44.3%	36.2%	37.7%
取組22	38.0%	35.2%	39.6%	36.8%	32.9%	49.3%	36.9%	41.2%	35.8%	48.3%	39.4%	33.9%	32.0%
取組23	35.0%	32.0%	36.7%	33.8%	31.2%	44.1%	33.9%	40.1%	31.9%	42.2%	34.9%	30.4%	34.3%
取組24	28.0%	30.4%	31.2%	25.7%	24.1%	37.6%	34.2%	30.1%	26.1%	29.7%	28.0%	28.6%	24.2%
取組25	37.4%	41.1%	40.6%	35.3%	34.4%	45.4%	41.2%	39.8%	34.7%	43.5%	38.3%	36.2%	33.5%
取組26	26.2%	26.1%	30.0%	23.2%	23.6%	32.5%	29.8%	29.7%	24.0%	28.8%	23.7%	23.7%	27.0%

※本表は、全回答に占める満足群(「満足」、「やや満足」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

< 参考 : 図2-2-2 満足・不満群割合 (回答「わからない」除く) >



※本図は、全回答から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者について満足群と不満群(「やや不満」、「不満」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

(3) 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

政策推進の基本方向・課題		取組
美しく安全な県土づくり	⑪経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	取組27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献
		取組28 廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進
	⑫豊かな自然環境, 生活環境の保全	取組29 豊かな自然環境, 生活環境の保全
	⑬住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	取組30 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成
美しく安全な県土づくり	⑭宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	取組31 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実
		取組32 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進
		取組33 地域ぐるみの防災体制の充実

調査結果の特徴

【重視度】

○県全体の重視度を見ると, 7 取組中 6 取組で高重視群(「重要」, 「やや重要」と回答した者の割合)が 7 割を超えており, このうち「取組 28:廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進(82.0%)」, 「取組 31:宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実(90.1%)」, 「取組 32:洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進(82.7%)」, 「取組 33:地域ぐるみの防災体制の充実(80.9%)」については 8 割を超えています。

一方, 「取組 30:住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成(53.5%)」の高重視群が 6 割を下回っています。

また, 7取組中 2 取組で「わからない」とする回答が 2 割を超えています。(図3-1-1)

○属性別の高重視群について, 県全体との主な差異を見ると, いずれの属性も県全体と同様に「取組 31」が最も高くなっています。(表3-1)

○県全体の今回と前回調査(平成 21 年 3 月実施)との高重視群の主な差異を見ると, 「取組 27:環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献」の高重視群が約 6 ポイント減少(75.8%→70.2%), 「取組 30」が約 7 ポイント減少(60.4%→53.5%)しています。(表3-1)

【満足度】

○県全体の満足度を見ると, 7 取組中 5 取組(「取組 28:廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進(53.4%)」, 「取組 29:豊かな自然環境, 生活環境の保全(44.4%)」, 「取組 31:宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実(55.2%)」, 「取組 32:洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進(46.0%)」, 「取組 33:地域ぐるみの防災体制の充実(46.9%)」)で満足群(「満足」, 「やや満足」と回答した者の割合)が 4 割を超えています。

一方, 満足群が 3 割を下回った取組はありませんでした。

また, 7 取組中 1 取組で「わからない」とする回答が 4 割を超えています。(図3-2-1)

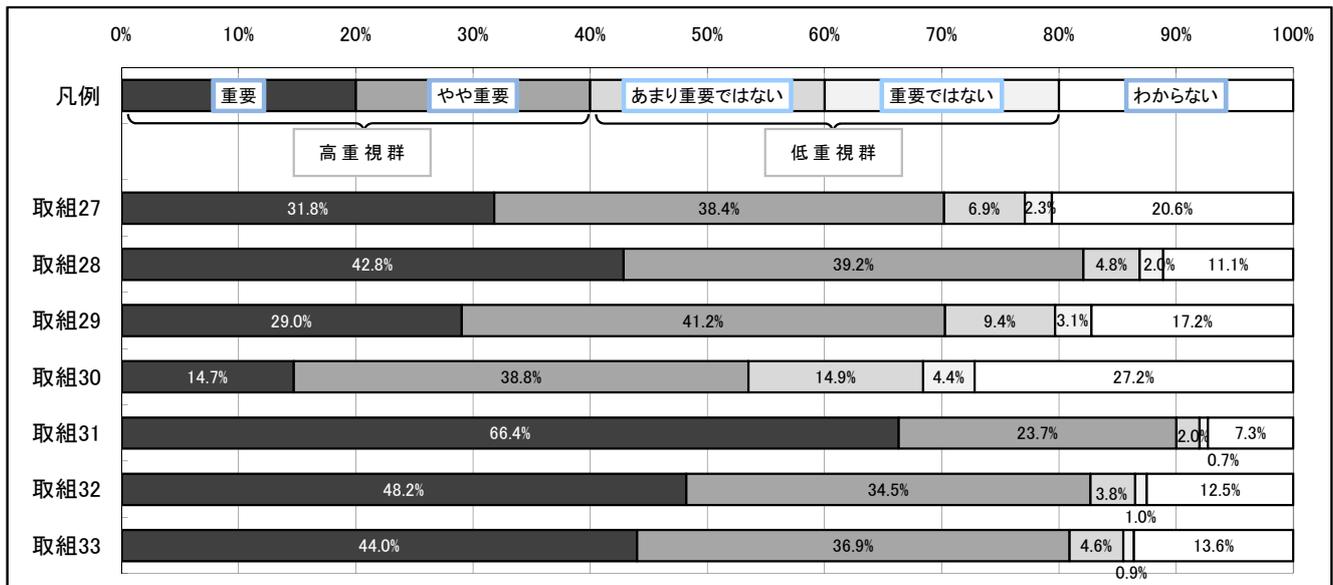
○属性別の満足群について, 県全体との主な差異を見ると, 県全体では「取組 31」が最も高くなっているのに対し, 【女性】【仙南圏域】【仙台圏域】では「取組 28」が最も高くなっています。(表3-2)

○県全体の今回と前回調査との主な差異を見ると, 「取組 28」の満足群が約 10 ポイント増加(43.2%→53.4%), 「取組 31」が約 6 ポイント増加(49.6%→55.2%), 「取組 33」が約 5 ポイント増加(42.1%→46.9%)しています。(表3-2)



【3-1】 重視度割合データ（人と自然が調和した美しく安全な県土づくり <取組27~33>）

< 図3-1-1 重視度割合（全回答） >



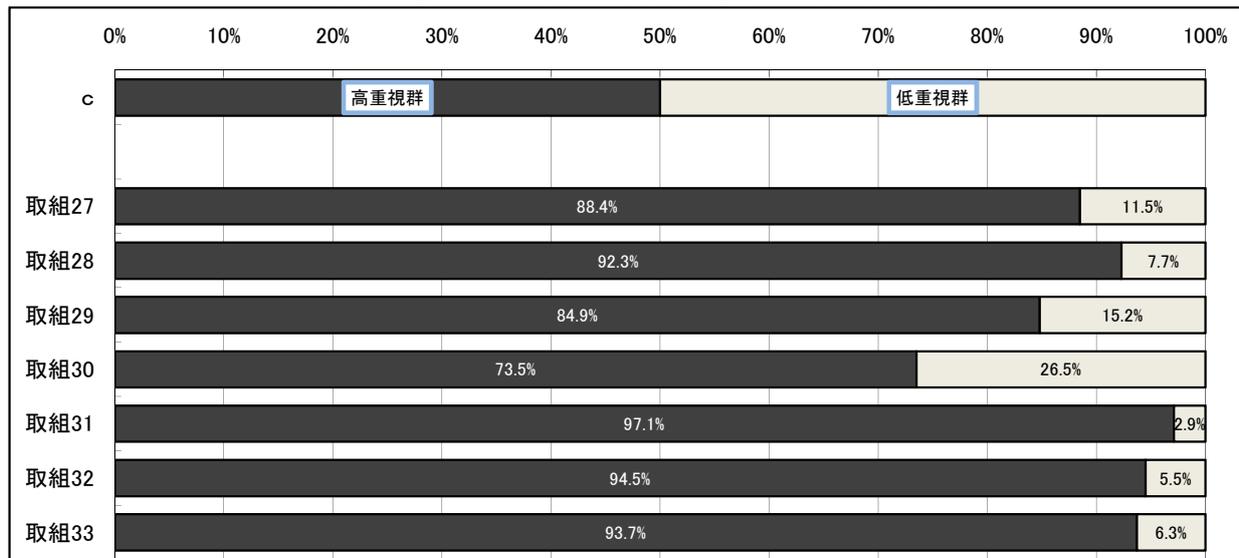
※本図は、全回答（「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」、「わからない」）について、それぞれの割合を表示したものです。

< 表3-1 高重視群一覧（回答者属性別） >

	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組27	70.2%	75.8%	75.1%	66.2%	71.8%	68.3%	72.1%	69.4%	72.5%	71.8%	70.5%	70.0%	69.9%
取組28	82.0%	82.0%	83.0%	81.6%	80.6%	85.9%	85.5%	84.8%	81.6%	80.4%	82.6%	79.8%	83.2%
取組29	70.2%	73.3%	73.5%	67.3%	66.8%	78.0%	69.3%	72.2%	66.8%	71.1%	70.0%	70.9%	73.0%
取組30	53.5%	60.4%	58.2%	49.2%	47.4%	66.7%	52.6%	50.8%	54.8%	57.8%	56.7%	47.8%	55.9%
取組31	90.1%	91.5%	91.8%	88.8%	90.1%	90.7%	90.1%	91.6%	88.8%	88.7%	90.8%	90.6%	92.8%
取組32	82.7%	85.8%	84.8%	80.7%	81.0%	86.6%	79.7%	85.7%	80.7%	82.7%	85.4%	82.3%	84.9%
取組33	80.9%	81.8%	83.2%	79.3%	80.0%	84.0%	81.2%	81.3%	78.7%	80.9%	84.9%	83.0%	81.2%

※本表は、全回答に占める高重視群（「重要」、「やや重要」と回答した者）の割合を属性別に表示したものです。

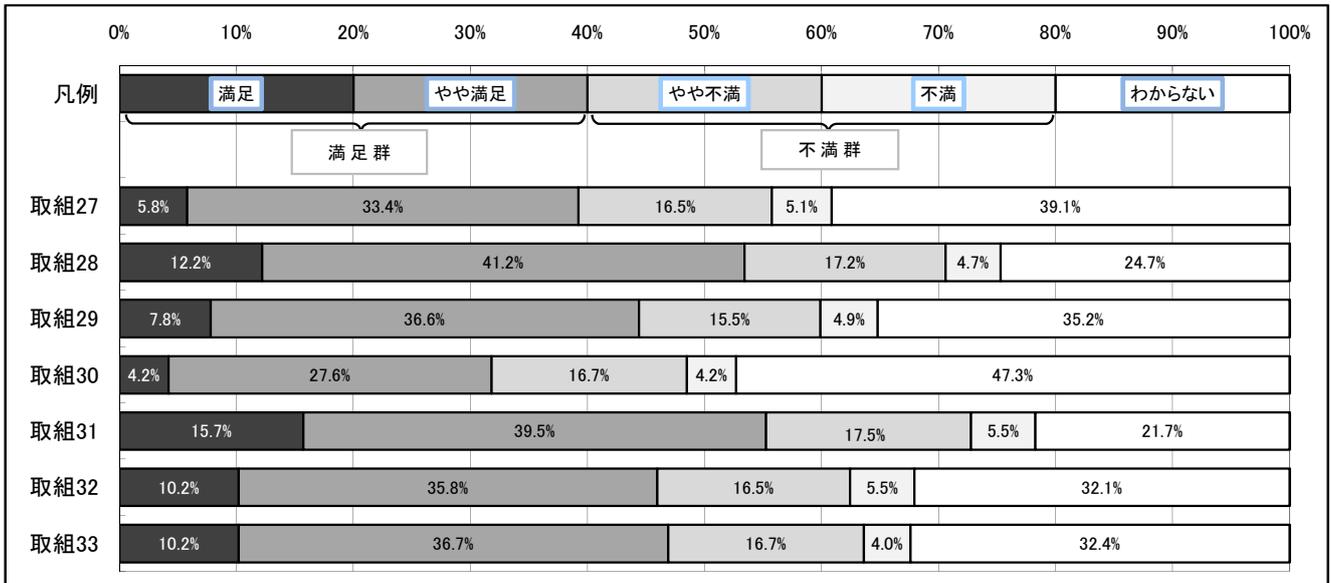
< 参考：図3-1-2 高・低重視群割合（回答「わからない」除く） >



※本図は、全回答から「わからない」を除き、重視度を評価した回答者について高重視群と低重視群（「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した者）の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

【3-2】 満足度割合データ (人と自然が調和した美しく安全な県土づくり <取組27~33>)

< 図3-2-1 満足度割合 (全回答) >



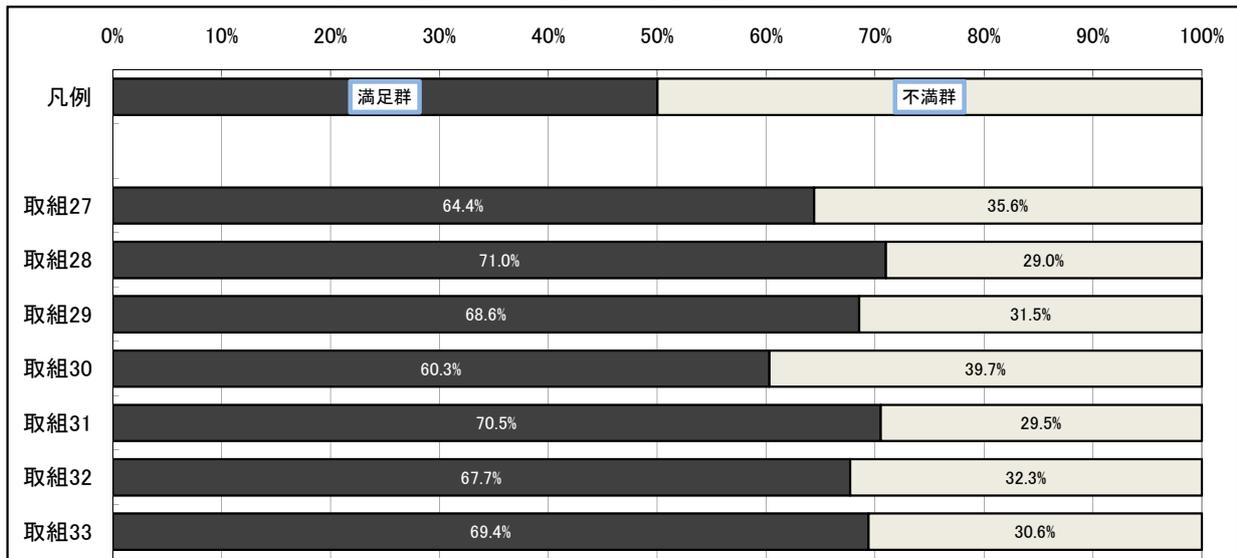
※本図は、全回答(「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

< 表3-2 満足群一覧 (回答者属性別) >

	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組27	39.2%	38.2%	42.1%	37.2%	37.7%	44.3%	41.0%	38.9%	40.7%	45.1%	39.2%	36.6%	36.7%
取組28	53.4%	43.2%	52.6%	55.2%	50.2%	62.3%	57.0%	55.6%	50.6%	56.3%	56.8%	48.6%	55.2%
取組29	44.4%	41.5%	45.9%	43.7%	39.2%	57.2%	44.0%	42.3%	40.1%	48.9%	49.8%	44.7%	45.3%
取組30	31.8%	31.7%	35.1%	28.8%	26.5%	43.8%	33.9%	31.7%	29.1%	38.5%	35.2%	24.2%	31.1%
取組31	55.2%	49.6%	59.6%	51.7%	50.7%	66.0%	53.2%	49.0%	51.9%	62.9%	59.1%	53.4%	61.7%
取組32	46.0%	42.9%	48.0%	44.4%	40.7%	58.2%	41.3%	45.1%	44.4%	54.0%	46.7%	43.6%	49.4%
取組33	46.9%	42.1%	49.9%	44.4%	41.7%	58.9%	48.3%	46.2%	44.1%	54.0%	49.4%	41.8%	48.1%

※本表は、全回答に占める満足群(「満足」、「やや満足」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

< 参考 : 図3-2-2 満足・不満群割合 (回答「わからない」除く) >



※本図は、全回答から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者について満足群と不満群(「やや不満」、「不満」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

(4) 各取組における特に優先すべきと思う項目調査結果

取組ごとに特に優先すべきと思う項目を調査したところ、次のような結果となりました。(複数回答)

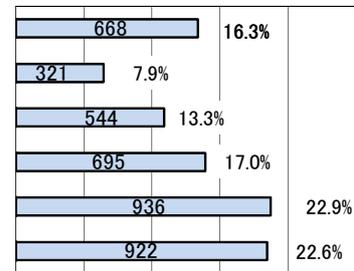
【1. 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～】

① 育成・誘致による県内製造業の集積促進

■取組1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興

- ア 半導体製造装置・太陽電池製造装置、医療・健康機器、エネルギーデバイス、航空機などの市場における県内企業の取引の創出及び拡大促進
- イ 東北各県と連携して関東・東海圏域で自動車関連産業の商談会を開催するなど、受注機会の拡大促進
- ウ 自動車関連産業への新規参入と取引拡大を進めるため、県内製造業の技術力の向上や設備投資への支援や隣接県の試験研究機関との連携による技術開発への支援
- エ 太陽光発電や環境対応車など市場拡大が期待される「クリーンエネルギー産業」の積極的な誘致、技術開発や製品開発への取組支援
- オ 経済波及効果や雇用拡大への貢献が大きい重点産業などを中心とした、地域経済の中核となる企業及びその関連企業の戦略的な誘致促進
- カ みやぎ産業振興機構などの産業支援機関と連携して行う、県内製造業の技術力、営業力、販売力などの強化への支援

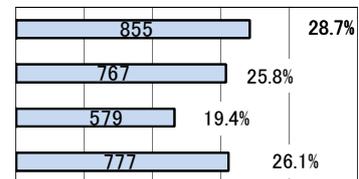
n(回答者数)=1,915, N(回答数累計)=4,086



■取組2 産学官の連携による高度技術産業の集積促進

- ア 高度電子機械産業の集積促進を目指した、企業と大学などの人材や技術の相互交流、共同研究、ネットワークづくりなどの推進
- イ 半導体製造装置・太陽電池製造装置、医療・健康機器、エネルギーデバイス、航空機の重点4分野における取引の創出・拡大促進
- ウ 大学や県内企業などによるプロジェクトに対する、国などの大規模な資金を導入するための支援
- エ 知的財産、未利用特許を持つ県内企業や大学などと、それを必要とする企業の仲介や、そのような技術を利用して行う新製品の開発支援

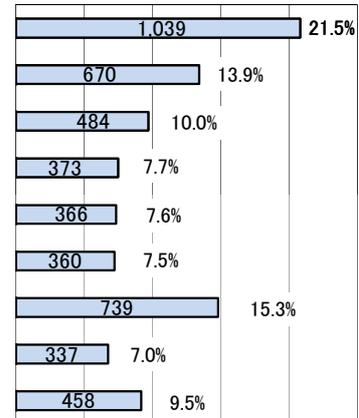
n=1,890, N=2,978



■取組3 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興

- ア 高齢社会や健康志向などを踏まえて行う、消費者が求める商品づくり
- イ 新たな加工食品などの開発を、農林水産業、食品製造業者等が協力しながら行う体制づくりへの支援
- ウ 県や関係機関が協力して行う大規模商談会や、首都圏などで開催される国際規模の商談会における、県産食品の取引拡大に向けた支援
- エ 県内での取引を活発にするための、企業間の取引などの仲介
- オ 産学官の連携や地域の食文化を生かした新商品開発促進
- カ 商品開発力や販売力を強化するための食品製造業の経営革新
- キ 販売競争を有利に進めるための県産食品のイメージアップ
- ク 首都圏などでの市場調査や、企業間の販売や取引の仲介の支援
- ケ 食品関連産業の企業立地の促進と、既存企業の生産性向上につながる事業の高度化の推進

n=1,933, N=4,826

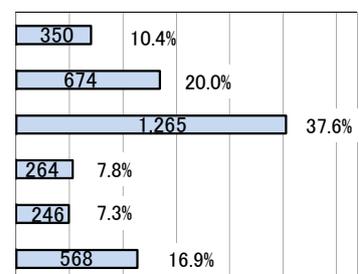


② 観光資源・知的資産を活用した商業・サービス産業の強化

■取組4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興

- ア サービス産業の新たな事業展開や高付加価値化に向けたアドバイザーやコーディネート機能の強化
- イ コミュニティビジネスなど、地域や生活に密着したサービス業を行う場合の支援と今後成長が期待されるサービス分野の高付加価値化に向けた活動支援
- ウ 地域の実情に応じた、まちづくりと連携した地域商業の活性化支援
- エ 開発系IT企業(ソフトウェア開発企業)の誘致支援
- オ 情報関連技術者の養成と、情報関連産業の市場拡大につながる情報通信技術の活用促進
- カ 組み込みシステム分野やデジタルコンテンツ分野など、成長が期待される分野における市場の獲得を目指した技術習得、人材交流、商品開発の支援

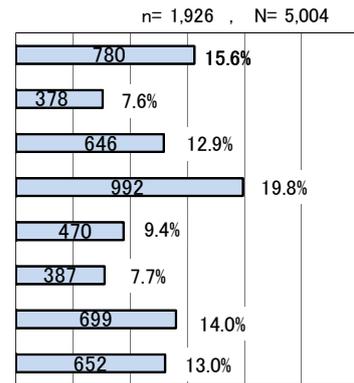
n=1,901, N=3,367



※各表の「割合(%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合

■取組5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現

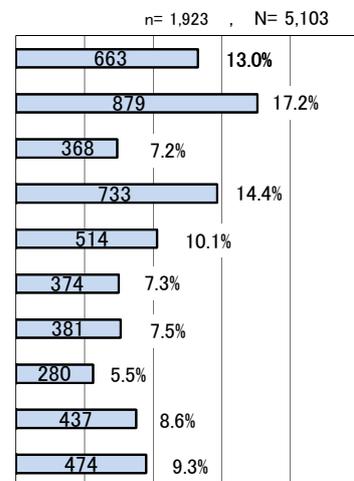
- ア 大型観光キャンペーンなど、官民一体となった積極的な観光客誘致の推進
- イ インターネットなど広報媒体を活用した効果的な情報発信や団塊の世代などの絞った集客活動
- ウ 県民の観光に対する意識の向上と、地域一体となった「もてなしの心」向上のための取組強化
- エ 温泉や食材、地域の産業など宮城独自の資源を生かした体験・滞在型観光の発掘、観光ルートの整備
- オ 観光施設及び案内板・標識の整備、バリアフリー・ユニバーサルデザインの普及
- カ 地域が主体的に観光振興に取り組む組織・体制づくりの強化と地域の魅力を売り出している人材づくりの推進
- キ 都市と農山漁村が理解し合い、互いに支え合うグリーン・ツーリズムを目指した推進環境の整備、人材育成、情報発信、地域活動の活性化支援
- ク 県内市町村や関係機関との連携による観光推進組織の強化



③ 地域経済を支える農林水産業の競争力強化

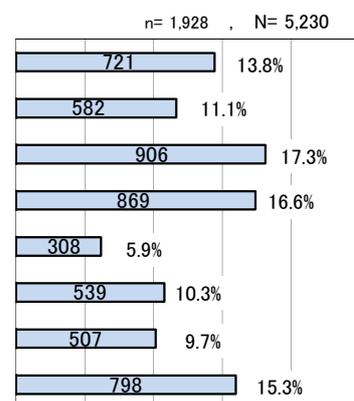
■取組6 競争力ある農林水産業への転換

- ア 消費者の視点に立って商品を生産していく農林水産業への転換支援
- イ 「食材王国みやぎ」を支える県産農林水産物のブランド化
- ウ 大規模生産法人や集落営農組織等の園芸生産拡大によるバランスの取れた農業生産構造への転換促進
- エ 農地の団地化など効率的利用の促進や米粉用米・飼料用米等の生産拡大による水田の有効活用の促進
- オ 農業者が生産から流通・加工・販売などを一体で行うアグリビジネスなど企業の経営の促進
- カ 森林整備推進、低コストで安定的な木材の供給促進や良質な製材品等の加工・流通支援
- キ 水産資源の適切な管理と水産物の水揚げ強化や水産加工品等の商品開発による付加価値向上の支援
- ク 県内農林水産物の需要拡大を図るための、農林水産業と流通加工業者等との取引の仲介支援と農商工連携の促進
- ケ 香港・台湾・韓国・中国・ロシア等の重点地域に向けた県産食品の輸出促進
- コ 農林水産業における経営コストの低減や効率的な生産に資するための生産基盤の整備促進



■取組7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保

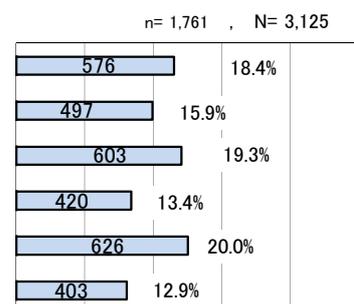
- ア 食料自給率向上に向けた、関係機関・団体・行政等の協働による県民運動の推進
- イ 地産地消運動の展開による県内農林水産物への理解向上と消費・活用の促進
- ウ 地産地消につながる県産食材の学校給食への利用促進
- エ 宮城の豊かな「食」を生かした食育の推進
- オ 木材の利用意義について理解を深め、県産木材の利用促進を図る県民運動の展開
- カ 安全安心な農林水産物の安定供給の推進
- キ 生産者・事業者と消費者の間での食材や食品についての情報共有による相互理解など、安全安心についての信頼関係づくり
- ク 消費者、生産者・事業者、行政が連携して行う食の安全安心確保のための体制整備



④ アジアに開かれた広域経済圏の形成

■取組8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進

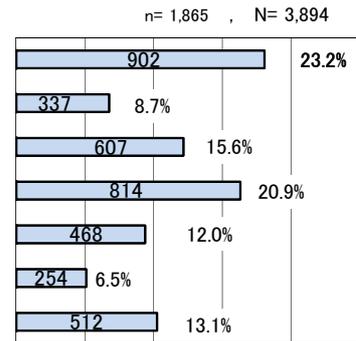
- ア 県の海外事務所、関係機関及び海外取引実績のある企業等が連携し、海外展開を目指す県内企業の国際的経済活動への総合的な支援体制づくり
- イ 県内企業が国際的経済活動を行う際のニーズ調査、海外取引事務や知的財産保護対策等の専門知識の提供、アドバイスや取引仲介機能など支援体制の強化
- ウ 県産品の販売先開拓や原材料調達のための商談会開催など、海外との取引機会の拡大支援
- エ 独自技術を有する地元企業等や最先端の技術を有する東北大学等との協力による、外資系研究開発型企業等の進出促進
- オ 県内企業の進出及び本県産品等の輸出拡大が見込める諸外国との経済交流の促進
- カ 国際交流、国際協力及び多文化共生社会の形成を通じた、海外との交流基盤強化と経済交流支援



※各表の「割合(%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合

■取組 9 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成

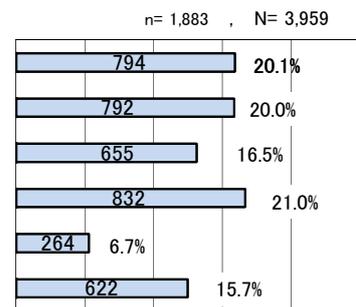
- ア 東北各県と連携した競争力のある広域経済圏の形成と人口流出に歯止めをかけるための取組実施
- イ 山形県との連携に関する構想の具体化と岩手県や福島県と連携施策の実施に向けた検討
- ウ 県境を越えた企業、研究機関の間での役割分担や協力体制づくりによる、東北地方への産業集積の支援
- エ 東北が自動車関連産業の集積拠点化していくことを見据えた取引拡大、人材育成など必要な環境整備についての東北各県との連携強化
- オ 東北地方の観光推進組織との連携による誘客と国内外からの交流人口の増加を図るための取組実施
- カ 隣接県と連携した国内外拠点事務所の共同運営や、企業の海外進出を支援する体制づくり
- キ 港湾や高規格幹線道路などの広域的な経済活動を支えるインフラ整備の促進



⑤ 産業競争力の強化に向けた条件整備

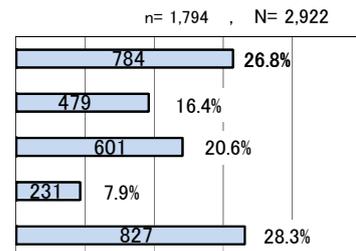
■取組 10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保

- ア 宮城県の基幹産業である製造業の発展を担うものづくり人材の育成体制づくり
- イ 企業での実習と学校での座学を並行して行うなど、学校と地域企業が一体となった産業人材の育成
- ウ まちづくりと連携した地域の活性化につながる商店街づくりやものづくり産業の競争力強化と県内企業の経営安定化に向けた次代を担う経営者の育成
- エ 社会情勢の変化に対応しながら、次代の農林水産業を担う人材・後継者の育成確保
- オ 県内大学等への留学生をはじめとした高度な専門知識や技術力を持つ外国人の卒業後の県内企業や研究機関への就業促進
- カ 女性の積極的活用に取り組んでいる企業が社会的に評価されるような普及・啓発の推進



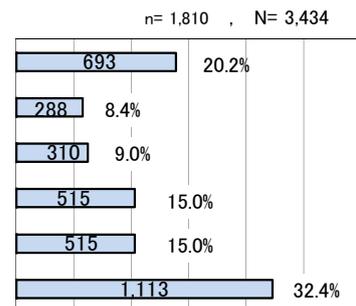
■取組 11 経営力の向上と経営基盤の強化

- ア 社会情勢に的確に対応できる経営体の育成のため、商工会議所、農業協同組合など産業ごとの関連団体と連携して行う情報提供や相談機能強化
- イ 起業家の育成や事業計画の作成支援など、産業支援機関等と連携したさまざまな経営支援体制の充実と新たな支援ニーズに対応した支援策の拡充
- ウ 自動車関連産業や食品関連産業など、成長が見込まれ経済の中核をなす業種を、重点的に支援し、景気変動に対し安定的に資金調達が可能となる制度融資の充実
- エ ファンドや証券化の手法を活用した資金供給、企業の成長性を評価する融資制度づくりなど、中小企業にとっても利用しやすいさまざまな資金調達手段の整備
- オ 認定農業者などの経営安定化や集落営農の組織化、漁船漁業の構造改革に向けた取組等の支援による農林水産業の経営体質の強化



■取組 12 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備

- ア 貨物量の増加や船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭用地の造成など、港湾機能拡充のための施設整備
- イ 港湾貨物の需要開拓及び新規航路開設に向けた誘致活動(ポートセールス)の強化
- ウ 港周辺地域の貿易関連機能や流通・工業機能の強化に向けた仙台港背後地の保留地販売の促進
- エ 仙台空港の航空路線の維持・増便と新規路線の開設に向けた誘致活動(エアポートセールス)の強化
- オ 仙台空港アクセス鉄道沿線の臨空都市整備など、産業経済拠点づくりに向けた流通・商業機能の整備促進
- カ 三陸縦貫自動車道など高速道路網及び広域ネットワークづくりに向けた道路網の整備促進



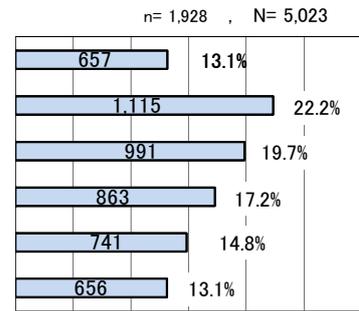
※各表の「割合(%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合

【2. 安心と活力に満ちた地域社会づくり】

⑥ 子どもを生き育てやすい環境づくり

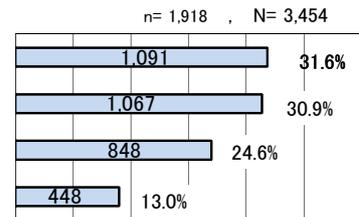
■取組 1 3 次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり

- ア 市町村・企業・NPOなどと連携・協働して行う総合的な少子化対策
- イ 育児休業取得の促進や職場復帰しやすい環境づくりなど、企業等における仕事と子育ての両立支援
- ウ 入所待機児童解消に向けた保育所整備等の促進と延長保育などの各種保育サービスや放課後児童クラブの充実に向けた取組支援
- エ 不登校や引きこもりなど悩みを抱える子どもや、子育てに不安・問題を抱える親や家族に対する相談・指導の充実
- オ 関係機関が連携した虐待防止体制づくりや、発生子防・早期発見・保護児童等に対する援助など、素早かつ確かな対応
- カ 周産期・小児救急医療体制の充実と不妊治療を行う夫婦に対する支援



■取組 1 4 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成

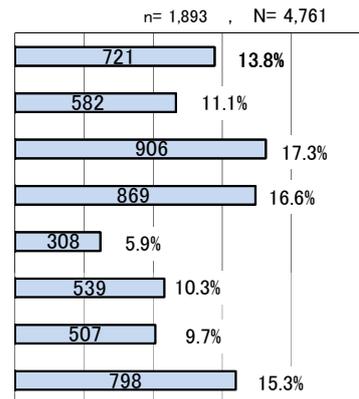
- ア 家庭・地域・学校が協働して行う、子どもの基本的な生活習慣や学習習慣の定着に向けた運動
- イ 子どもの活動拠点作りや地域で子どもを教える仕組みなど、家庭・地域・学校が協働して地域全体で子どもの教育を進めるための組織づくり
- ウ 地域・家庭・学校が協働し、多くの住民が進んで参画しながら生み出す、子どものさまざまな学習・体験機会の創出
- エ 学校・企業・NPOなど、地域における関係機関と連携した多様な教育活動等の促進



⑦ 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり

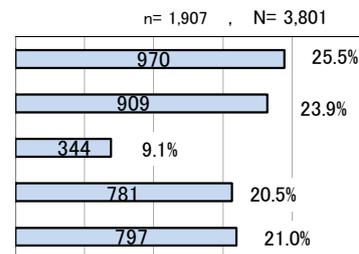
■取組 1 5 着実な学力向上と希望する進路の実現

- ア 様々な社会活動や仕事、職業等の体験を通じて、児童生徒が主体的に学ぶ姿勢や将来の目標に向かって努力する態度を養う取組
- イ 豊かな心情や学ぶとする意欲、健全な生活を送る態度など学ぶ土台の形成を目指した、学校教育を受ける時期までの幼児教育・保育の充実
- ウ 家庭学習に関する啓発や自習環境の整備など、児童生徒の学習習慣づけの取組
- エ 子どもたちの理解が進むような授業ができるよう、教員の教科指導力を上げたり、小学校・中学校・高等学校が連携を強化する取組
- オ 学習状況調査などによる子どもたちの学力定着状況の把握・分析と確かな学力定着に向けた取組
- カ 子どもたちの進路選択能力を育てるための指導体制の充実と、教員が進路指導するための能力・技能の向上
- キ 地域の進学指導等の拠点となる高等学校での取組の充実とその成果の普及
- ク 社会の変化に対応した教育(情報通信技術を活用した教育・国際化に対応した教育・環境教育など)



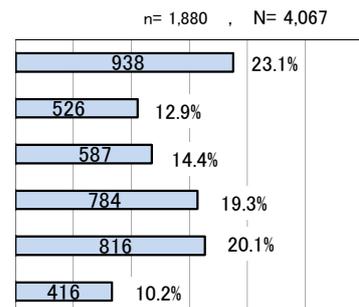
■取組 1 6 豊かな心と健やかな体の育成

- ア さまざまな社会体験や自然体験など、体験活動の充実や学校教育活動全般を通じた心の教育に関する取組
- イ 家庭・地域とが連携して行う、基本的な生活習慣を身につけることの大切さの普及啓発
- ウ みやぎアドベンチャープログラムの活用など、子どもたちの豊かな人間関係づくりのための取組
- エ スクールカウンセラー・相談員などの学校への配置、専門家・関係機関とが連携して行う教育相談体制の充実と不登校児童生徒への支援
- オ 小学校・中学校・高等学校までの体力・運動能力調査の継続的な実施など、子どもの体力・運動能力向上のための取組



■取組 1 7 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり

- ア 少人数学級や少人数指導など、子どもたちの実情に応じたきめ細かな教育活動の充実
- イ 県立高等学校の再・改編や入学者選抜制度改善などによる、時代の要求や教育環境の変化、生徒の多様化・個性化などに応じた魅力ある高校づくり
- ウ 学校の自主性・主体性を生かした学校運営への支援や学校評価の充実などによる地域から信頼される学校づくり
- エ 障害のある子どもも障害のない子どもも、地域の小・中学校で共に学ぶことのできる学習環境づくりと、軽度知的障害生徒の進路拡大を図るなどの特別支援教育の充実
- オ 優秀な教員確保、教員の資質向上・学校活性化のための適切な教員評価や教育研修の充実
- カ 県立高等学校の再・改編や特別支援学校の狭隘化、軽度知的障害生徒の後期中等教育に係る受け皿不足に対応するなどの必要な施設整備の推進

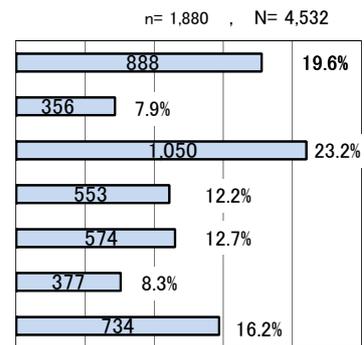


※各表の「割合(%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合

⑧ 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築

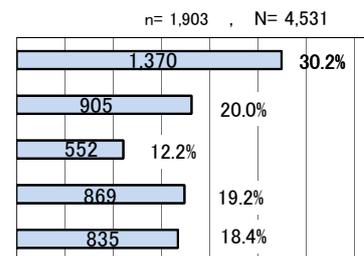
■取組 18 多様な就業機会や就業環境の創出

- ア 雇用情勢の急激な悪化等の対応として、地域の安定的な雇用機会や次の雇用までの一時的な雇用・就業機会の提供
- イ 就業形態の変化に応じた、産学官の各種機関が行うさまざまな職業能力開発の機会の提供
- ウ 働く意欲のある女性や高齢者の各々の経験や能力に応じた就業・雇用環境づくりや能力開発
- エ 相談体制の充実や職業選択機会の提供など、若年者に対する総合的な就業環境づくり
- オ 働く意欲のある障害者等の就職活動を支える能力開発の場の確保や相談・指導体制の充実
- カ 障害者雇用率制度など、障害者も含めたさまざまな就業環境づくりのための事業者への啓発
- キ 農林水産分野と介護分野への就労促進と、将来にわたり意欲と能力を持った担い手としての定着を目指した人材育成等の支援



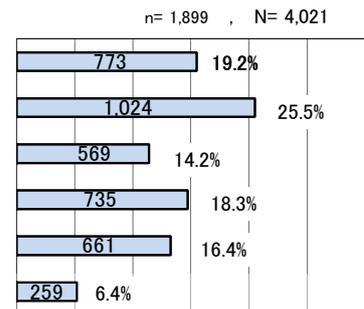
■取組 19 安心できる地域医療の充実

- ア 全国から県内の自治体病院での勤務を希望する医師を募集・配置するなど、地域医療を充実させるための医師確保
- イ 初期・二次・三次の各救急医療体制の充実と、救急医療を担う医師等の育成・確保
- ウ 総合的なリハビリテーションが提供できる体制づくりと、県リハビリテーション支援センターの充実
- エ より高度で専門的ながん医療提供のため、がん診療の拠点となる病院の機能強化やがん患者等の相談支援及び在宅緩和ケアの体制づくりなど、総合的ながん対策の推進
- オ 看護職員の確実な確保とその資質向上のために必要な支援



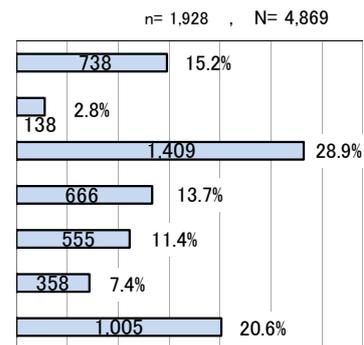
■取組 20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり

- ア 「みやぎ21健康プラン」に基づく、バランスの取れた食生活・食習慣の実現や運動習慣の普及・定着など、県民の健康づくり
- イ がん予防のための普及啓発、マンモグラフィ検診など効果的で質の高いがん検診の普及
- ウ 地域や学校、家庭、職場などが連携・協力して行う、宮城の特性を生かした総合的な食育
- エ 保健所や衛生研究所、医療機関などが連携した防疫、医療提供、情報提供などの体制づくりと、感染症集団発生に備えた隣県等を含めた広域的な連携体制づくり
- オ 乳幼児期から高齢期まで、一人一人の人生の段階に応じた心の健康づくりのための相談、指導体制づくりと自殺対策の推進
- カ 乳幼児に対するフッ化物の活用推進、各々の年代や地域の実情に応じた歯科保健体制づくり



■取組 21 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり

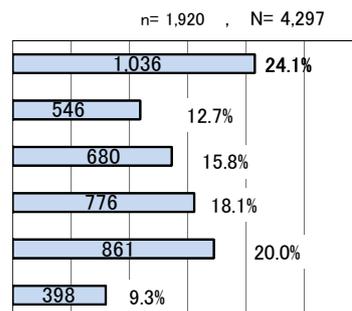
- ア 高齢者の知識や経験を生かした地域活動への参加促進と、地域活動で中心となって活躍する人材の養成・確保
- イ 平成24年秋に宮城県で開催予定の「ねんりんピック(全国健康福祉祭)」
- ウ 介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心した生活を送るための特別養護老人ホームなどの基盤づくりや、一人暮らし高齢者等に対する的確な対応
- エ 専門的知識を持ちながら、介護サービス利用者の立場に立ったサービスを提供できる質の高い人材の養成・確保
- オ 介護予防サービスの提供や、自立した生活を送るための介護予防ケアマネジメント体制づくり
- カ 高齢者などの権利を守るための体制づくりや、虐待発生防止に向けた県民意識の啓発
- キ 認知症への正しい理解の促進や、かかりつけ医等による認知症の早期発見・早期対応の体制づくりなど、認知症高齢者を地域で支える総合的な支援



※各表の「割合(%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合

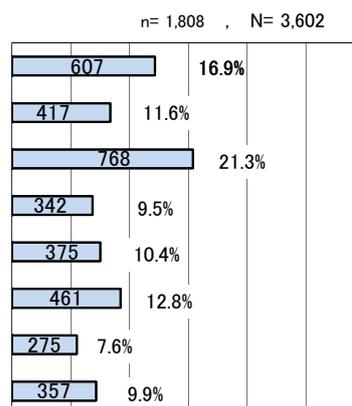
■取組 2 2 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現

- ア 働く意欲のある障害者等の就職活動を支える能力開発の場の確保や相談支援体制の充実
- イ 障害者の地域生活を支える相談支援体制づくり
- ウ グループホームなど、身近な地域での住まいや日中活動の場などの生活・活動の基盤づくり
- エ 障害の有無や年齢にとらわれない、利用者の要望に応じた福祉サービスの提供や地域での支え合いへの支援
- オ 難病患者やその家族に対する日常生活における相談支援体制の整備など、難病患者が在宅で安心して療養生活を送ることができる環境の整備
- カ 公益的施設のバリアフリー化の促進や県民への普及啓発



■取組 2 3 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興

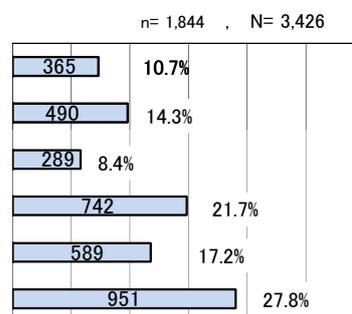
- ア より充実した生涯学習の環境づくりと、学習機関同士の結び付きなどによる県民の自主的な学習活動の支援
- イ みやぎ県民大学の実施など、社会的に求められている学習機会の確保や、地域のさまざまな生涯学習活動を支援する指導者の育成
- ウ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援など、生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくり
- エ 競技スポーツにおいて、指導者育成対策、競技力向上などの環境の充実
- オ 県民が文化芸術に触れる機会の充実など、文化芸術活動の振興
- カ 地域文化の継承・振興のための取組支援と文化財の保存・活用
- キ 県民の文化芸術活動を生かした地域づくりや交流の推進
- ク 宮城県図書館・美術館・東北歴史博物館等の拠点の充実と、関係機関との組織づくり



⑨ コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実

■取組 2 4 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実

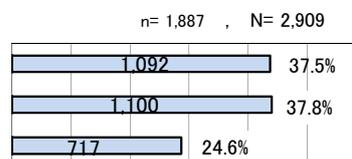
- ア 施設の配置場所、市街地開発など、都市計画の方針を明らかにする都市計画区域マスタープランに基づく良好な市街地づくり
- イ 都市計画による適切な土地利用の誘導や公共公益施設の適切な配置
- ウ 鉄道沿線などの市街地整備や既存市街地の再開発
- エ 地域の実情に応じた、まちづくりと連携した商店街活性化への支援
- オ 豊かな自然環境や独自の伝統文化などを生かした集客交流や移住・交流者による地域づくりなど、多様な主体と連携し、地域の実情に応じた集落維持・活性化対策の促進
- カ 地域の日常生活を支えるバス路線など、公共交通の維持支援



⑩ だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり

■取組 2 5 安全で安心なまちづくり

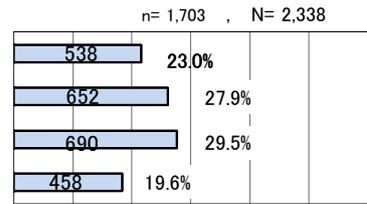
- ア 「犯罪のない安全・安心まちづくり」のために行政、地域、事業者等が連携して行う県民運動の展開と県民の体感治安向上に向けた取組の促進
- イ 子どもや女性、高齢者、障害者、外国人など、防犯の面で特に配慮が必要な人々に対する安全対策の充実
- ウ 消費者被害を未然に防ぐための情報提供や啓発活動の充実など、消費生活の安全性の確保



※各表の「割合(%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合

■取組 2 6 外国人も活躍できる地域づくり

- ア 多文化共生の基本理念の啓発等を通じた市町村や関係団体、県民との間での適切な役割分担と協働の推進
- イ 情報を多言語で発信したり、その家族を支援するなど、外国人の生活の安全・安心の確保や家庭生活の質の向上、県民としての自立と社会活動参加の促進
- ウ 友好地域をはじめとした海外との交流や県民・民間団体が主体的に国際交流活動や国際協力活動を行うことができる環境づくりの促進・支援
- エ 県内大学への留学生をはじめとする、高度な専門知識や技術力を持つ外国人の卒業後の県内企業や研究機関への就業促進

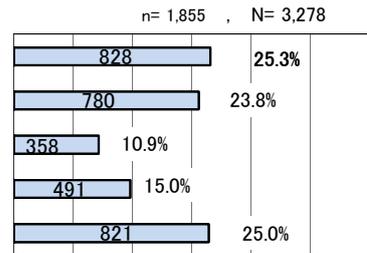


【3. 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり】

⑪ 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立

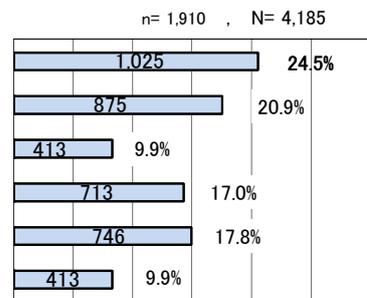
■取組 2 7 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献

- ア グリーン購入やエコドライブなど、県民や民間、市町村などが、日常的に、環境に配慮して行動できるようにするための普及啓発の促進
- イ 地域特性を生かした自然エネルギーの導入促進や、県民や事業者が一体となった省エネルギー活動などの地球温暖化対策の推進
- ウ 県が事業を行う場合の物品購入や入札で、環境に配慮した活動を行う企業や製品を優遇するなどの率先行動の実施
- エ 農林水産業の多面的機能に注目した取組支援と環境に優しい農林業の普及
- オ 風力、太陽光など、地球環境に優しいグリーンエネルギー関連産業の誘致及び振興とそうした社会の実現を目指した先導的なプロジェクトへの取組



■取組 2 8 廃棄物等の3R（発生抑制・再使用・再生利用）と適正処理の推進

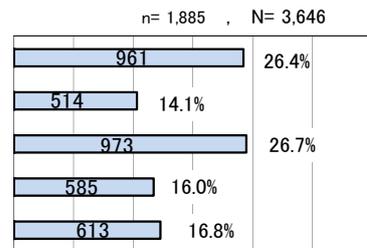
- ア さまざまな場面で3R活動（ごみを出さない、再使用する、再生利用するなどの取組）を進めるための、県民・事業者・市町村等への啓発活動の充実
- イ 日常生活や事業活動での廃棄物の発生を抑えたり、資源として再利用する取組の促進
- ウ 製品の製造、流通から廃棄までの各段階や、サービスの提供に伴う環境負荷低減の促進
- エ リサイクル施設の整備など3Rを支える社会的基盤の充実とリサイクル関連新技術開発の促進
- オ 廃棄物の適正処理を進めるため、廃棄物を出す側の責任意識や県民の理解協力の促進と、不法投棄等不適正処理の根絶に向けた監視指導の強化
- カ 廃棄物処理に関する情報公開を進めるなど、透明性の確保



⑫ 豊かな自然環境、生活環境の保全

■取組 2 9 豊かな自然環境、生活環境の保全

- ア 特別名勝松島や国定公園（栗駒山など）、ラムサール条約湿地（伊豆沼）など、宮城の自然環境の保全・再生の推進
- イ 特定鳥獣や希少動植物などをはじめとした、多様な野生生物の保護管理
- ウ 豊かな自然環境を守りながら、自然のもたらすやすらぎと潤いに浸ることができる取組の推進
- エ 身近にあるみどり豊かな空間の保全と、自然環境保全意識の醸成に向けた人材育成
- オ 各流域の特性を生かした水にまつわる環境の保全



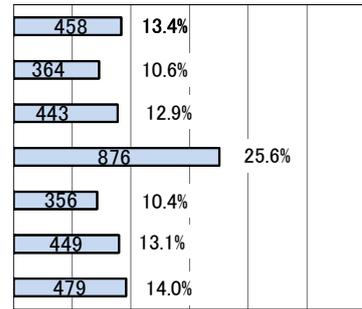
※各表の「割合(%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合

⑬ 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成

■取組 3 0 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成

n= 1,843 , N= 3,425

- ア 長期的な視点に立った社会資本の新設・保全・更新の仕組みづくり
- イ 社会資本の整備計画づくりや完成後の管理に住民意見を取り入れるための体制づくり
- ウ みやぎスマイルロードプログラムなど、道路や河川清掃などへの住民や企業の参画促進
- エ 農地や農業用水など農山漁村の豊かな地域資源の保全・活用のための地域ぐるみによる農業生産活動や農地保全活動への支援
- オ 全県的な景観形成の方向性の提示と市町村の景観形成への支援
- カ 景観に配慮した公共施設づくり
- キ 宮城の良好な景観の選定など、良好な景観づくりのための普及啓発

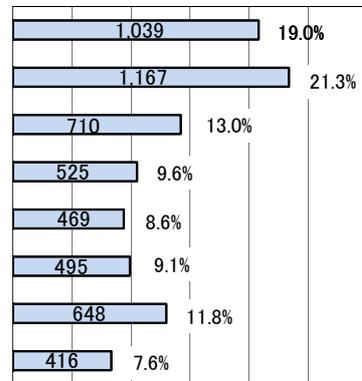


⑭ 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり

■取組 3 1 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実

n= 1,926 , N= 5,469

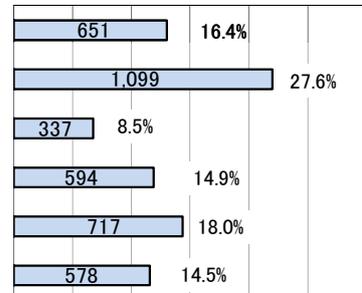
- ア 緊急輸送道路に当たる橋、物資輸送のための岸壁、防災拠点施設となる公共建築物の耐震化の促進や県立都市公園の防災機能の充実
- イ 電気、ガス、上下水道などの耐震化の促進
- ウ 住宅等の耐震化の促進
- エ 津波被害を防ぐ水門等の施設整備と、市町村や地域と連携した維持管理の充実
- オ 広報・避難誘導態勢の整備や、住民の防災意識の向上を図る津波に備えたまちづくりなどのソフト対策の促進
- カ 津波や地震などの観測体制の充実
- キ 宮城県総合防災情報システムなどの情報ネットワークの充実
- ク 国、市町村、大学、研究機関が連携して行う地震・津波の先端科学技術活用の促進



■取組 3 2 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進

n= 1,884 , N= 3,976

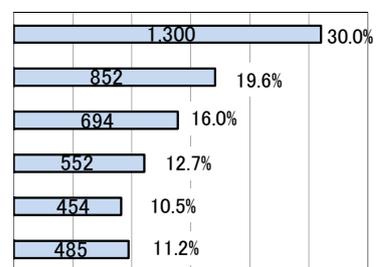
- ア 宮城県河川流域情報システムなどによる洪水情報提供体制の充実
- イ 洪水被害を防ぐための効果的な河川等の整備
- ウ 洪水対応演習等による洪水時連絡体制の充実や災害対策意識を高めるための啓発
- エ 土砂災害を防ぐための砂防ダムなど土砂災害を防止する施設の整備
- オ 宮城県砂防総合情報システムなどによる土砂災害情報提供体制の充実と、土砂災害警戒区域の指定などによる市町村と連携した警戒避難体制の整備
- カ 山地災害を防ぎ、水源のかん養、生活環境の保全を図るための治山施設の整備



■取組 3 3 地域ぐるみの防災体制の充実

n= 1,903 , N= 4,337

- ア 高齢者、障害者などの要援護者をはじめとした住民の速やかな避難体制や避難所運営体制づくりへの支援
- イ 災害ボランティアの受入れや活動がスムーズに行えるための体制づくりへの支援と、民間団体との協力的体制づくり
- ウ 自主防災組織の育成、防災訓練への参加促進、幼年期からの防災教育の充実
- エ 行政や関係機関での、防災に関する深い知識や高い判断能力を持った防災担当職員の育成
- オ 企業や地域において防災活動の中心となる防災リーダーの育成
- カ 企業におけるBCP(緊急時でも被害を最小限に食い止め、事業を継続・早期復旧できるようにするために定める計画)作成など企業の防災対策への支援



※各表の「割合 (%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合

2 特定項目（テーマ）調査結果

4つの特定項目（「地産地消」「宮城の治安」「暮らしと環境」「富県宮城の実現」）について調査した結果は次のとおりです。

※()の数值は、各問に占める当該選択肢の(県全体)回答割合。下線の付いた選択肢は各問の回答率第1位のもの。

1 地産地消について

問1：あなたは、「地産地消」という言葉を知っていますか。

1から3のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 意味まで知っている (58.0) 2 言葉は聞いたことがある (24.8)
3 知らない(初めて聞いた) (17.3)

付問1：問1で【1】を選んだ方にお聞きします。

あなたは、「地産地消」を進める必要があると思いますか。

1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 地産地消を進める必要がある (90.1) 2 地産地消を進める必要はない (1.9)
3 どちらともいえない (7.3) 4 わからない (0.6)

付問2：付問1で【1】を選んだ方にお聞きします。

あなたが、「地産地消」を進める必要があると考える理由は何ですか。

1から7のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 地域の農林水産業を守ることができるから (40.6)
2 食料自給率を向上させることができるから (24.6)
3 安心して食品(食材)を購入することができるから (18.5)
4 新鮮な食材(食品)を購入することができるから (9.8)
5 輸送距離が短く環境保全(二酸化炭素削減等)につながるから (5.3)
6 その他() (1.2)
7 わからない (0.0)



問2：近年、生産者の顔が見えるという安心感から、地元で生産された食品(食材)への関心が高まっていますが、あなたは、宮城県産の食品(食材)を購入していますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 購入している (46.5) 2 どちらかといえば購入している (40.7)
3 どちらかといえば購入していない (5.7) 4 購入していない (2.2)
5 わからない (4.9)

付問1：問2で【1】又は【2】を選んだ方にお聞きします。

あなたが、宮城県産の食品(食材)を選ぶ際に、意識するのはどのような点ですか。

1から10のうち、あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。

- 1 鮮度 (31.9) 2 安全性(信頼感) (31.5) 3 価格 (11.2) 4 旬(季節感) (7.5)
5 味 (2.7) 6 色や形 (0.4) 7 地元生産者の応援 (13.9)
8 意識していない (0.9) 9 その他() (0.1) 10 わからない (0.0)

2 宮城の治安について



問3：あなたは、日常生活を送る上で、治安についてどのように感じていますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 良い (18.2) 2 どちらかといえば良い (59.8)
3 どちらかといえば悪い (11.6) 4 悪い (2.5) 5 わからない (7.8)

付問1：問3で【1】又は【2】を選んだ方にお聞きします。

あなたが日常生活を送る上で治安が良い（どちらかといえば良い）と感じる理由は何ですか。

1から7のうち、あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。

- 1 事件事故が少なくなったから (13.0) 2 自分の身近で事件事故がないから (50.4)
3 安全安心に関する地域ボランティア活動が活発になってきたから (11.8)
4 警察官のパトロール活動が活発になったから (10.2)
5 地域社会の連携が強化されてきたから (11.8)
6 その他 () (1.0) 7 わからない (1.8)

付問2：問3で【3】又は【4】を選んだ方にお聞きします。

あなたが日常生活を送る上で治安が悪い（どちらかといえば悪い）と感じる理由は何ですか。

1から7のうち、あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。

- 1 事件事故が多くなったから (26.9) 2 自分の身近で事件事故が発生したから (14.6)
3 安全安心に関する地域ボランティア活動が十分ではないから (11.6)
4 警察官のパトロール活動が十分ではないから (18.8) 5 地域社会の連携が弱まったから (23.2)
6 その他 () (4.4) 7 わからない (0.5)

問4：あなたが、治安に関する情報として、もっと提供して欲しいと思うことは何ですか。

1から16のうち、あてはまる番号を3つまで選び○をつけてください。

- 1 近所で発生した犯罪情報 (20.4) 2 近所で発生した交通事故や飲酒運転情報 (7.5)
3 声かけ事案等の子どもに対する犯罪情報 (7.6) 4 少年の非行防止に関する情報 (4.4)
5 ストーカー、DV等の犯罪情報 (1.5) 6 痴漢、わいせつ行為等の犯罪情報 (3.4)
7 ひったくり、振り込め詐欺等の犯罪情報 (9.5) 8 暴力団、来日外国人による犯罪の実態 (4.9)
9 テロ行為等に関する情報 (0.9) 10 犯罪の手口と被害に遭わないための注意点 (13.0)
11 防犯に関する商品や設備の情報 (4.3) 12 犯罪被害に遭った場合の支援に関する情報 (7.9)
13 交通安全や防犯のボランティア活動情報 (3.6) 14 警察が行っている対策及びその推進状況 (9.8)
15 その他 () (0.2) 16 わからない (1.1)

問5：あなたは、規範意識を向上させるために、どのような対策が必要だと思いますか。

1から8のうち、あてはまる番号を3つまで選び○をつけてください。

- 1 軽い気持ちで行われる万引きの取締り (15.2) 2 ゴミのポイ捨てや落書き等の指導・警告 (24.4)
3 交通ルールを守るための交通安全指導 (16.4) 4 地域における絆（きずな）の強化 (20.4)
5 ボランティア活動への若い世代の参加促進 (15.2)
6 インターネット上のマナー向上への取り組み (6.6)
7 その他 () (0.6) 8 わからない (1.1)

3 暮らしと環境について

問6：あなたは、環境問題に対してどのような考えや意見を持っていますか。

1から8のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 環境保全に関する活動に積極的に参加したいと思う (23.1)
- 2 個人の行動がどの程度環境保全に役立つかわからない (22.4)
- 3 自分の日常生活も環境が悪化している原因の一つだと思う (21.3)
- 4 環境問題は自分自身に影響があるとは考えにくい (3.7)
- 5 環境問題の多くは科学技術の発展によって解決できると思う (8.3)
- 6 環境保全のために産業や技術の発展が妨げられないか心配だ (9.6)
- 7 1から6のうちあてはまる考えや意見はない (5.1)
- 8 わからない (6.4)

問7：環境保全の取組として、あなたが、日常生活の中でいつも行っていることはありますか。

1から16のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 冷暖房の使用ではエネルギーを節減する (12.1)
- 2 買い物の時にレジ袋をもらわない (16.7)
- 3 物は修理して長く使う (11.8)
- 4 地域の組織に参加して集団資源回収を行う (5.3)
- 5 余暇には自然と触れ合うように心がける (4.2)
- 6 地域の美化活動に参加する (6.8)
- 7 お風呂の残り湯を洗濯や掃除に使う (14.0)
- 8 マイカーよりも公共交通機関や自転車を利用する (2.5)
- 9 NPOの環境保全活動に参加する (0.5)
- 10 買い物の時に省エネ商品や環境にやさしい商品を選ぶ (6.0)
- 11 生ゴミはたい肥化したりする (7.5)
- 12 不用品をフリーマーケットなどで再利用やリサイクルする (3.5)
- 13 車を運転する時には、エコドライブ*をする (7.0)
- 14 クリーンエネルギーカーや太陽光発電設備（ソーラーパネル）を取り入れ、活用する。 (1.5)
- 15 1から14のうちいつも行っているものはない (0.3)
- 16 わからない (0.3)

※エコドライブ：無駄なアイドリングや空ぶかしをやめたり、急発進、急加速、急ブレーキを控えるなどの、環境にやさしい車の運転方法のこと

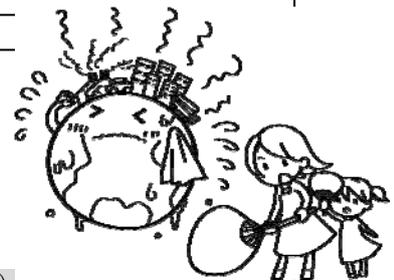
付問1：県では、環境にやさしい暮らし方の工夫を「e行動（eco do!）」と名づけ、平成19年6月からその宣言登録を推進しています。あなたは、「みやぎe行動（eco do!）宣言登録」について知っていますか。1から3のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 既に登録している (0.8)
- 2 知っているが登録していない (16.8)
- 3 知らない（初めて聞いた） (82.4)

問8：あなたが、地球温暖化防止のため、県に期待する取組は何ですか。

1から10のうち、あてはまる番号を3つまで選び○をつけてください。

- 1 広報活動により地球温暖化への意識を高め、自主的な行動を促す (15.1)
- 2 学校や地域等で、地球温暖化について学ぶ機会を増やす (17.9)
- 3 環境イベントなど県民が参加できる機会を増やす (7.5)
- 4 省エネ型製品の購入や家庭用太陽光発電機器の設置等に対して補助を行う (18.4)
- 5 地球温暖化防止に役立つ製品開発を支援する (8.4)
- 6 二酸化炭素削減のため、森林環境保全整備や緑化を推進する (18.5)
- 7 地球環境保全のために活動しているNPO等の団体を支援する (3.2)
- 8 地球温暖化につながるような行動等を規制する (7.4)
- 9 県に期待する取組はない (0.6)
- 10 わからない (3.0)



4 富県宮城の実現について

問9：県では、平成19年度からこれまで「富県宮城の実現」に向けて「製造業の集積」「観光振興」「農林水産業の競争力強化」などを柱に様々な取組を進めております。

あなたは、「富県宮城の実現」という言葉を知っていますか。

1から3までのうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 内容まで知っている (8.2) 2 言葉は聞いたことがある (46.7)
3 知らない(初めて聞いた) (45.0)

付問1：問9で【1】又は【2】を選んだ方にお聞きします。

あなたは、「富県宮城の実現」という言葉を何で知りましたか。

1から7までのうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 県の刊行物 (28.4) 2 県のホームページ (4.4) 3 新聞・雑誌 (32.8)
4 テレビ (31.5) 5 講演・セミナー (1.6) 6 その他 () (0.4)
7 わからない (0.9)

問10：県の「富県宮城の実現」に向けた取組やその成果について、あなたが知っていることは何ですか。

1から10までのうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 国内自動車メーカーの生産子会社など自動車関連企業の立地決定 (24.1)
2 世界第2位の半導体製造装置メーカーなど高度電子機械関連企業の立地決定 (9.9)
3 自動車関連企業など地元企業の取引拡大に向けた首都圏・愛知県などでの展示商談会の実施 (8.7)
4 工業系高校生や理工系大学生などへの技術力向上研修の実施 (3.9)
5 「仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン」など大型観光キャンペーンの実施 (22.2)
6 地域資源を活用した農商工連携の推進 (3.1)
7 中国・ロシア・米国などとの経済交流の促進 (4.5)
8 仙台北部道路や大衡インターチェンジなど産業基盤の整備 (17.9)
9 その他 () (0.1) 10 わからない (5.5)

問11：県では、今後(25年度まで)、「富県宮城の実現」に向けて、「県民生活を支える雇用の創出」に重点的に取り組むこととしております。

あなたが、「県民生活を支える雇用の創出」のため、県に最も期待する取組は何ですか。

1から7までのうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 企業誘致や地元企業の取引拡大支援などによる産業集積の加速 (22.7)
2 大型観光キャンペーンや外国人観光客誘致などの観光による交流人口の拡大 (3.7)
3 食料自給率の向上などに向けた農林水産業の競争力の強化 (13.4)
4 雇用情勢の悪化に対する緊急的な就業機会の確保 (30.8)
5 担い手不足の農林水産分野や需要が拡大している介護分野などでの多様な就業機会の確保 (17.4)
6 その他 () (0.3)
7 わからない (11.6)



IV 参考資料

1 回答者属性一覧

区 分		実数(人)	構成比(%)
一般県民(全体)		2053	100.0
性別	男性	949	47.9
	女性	1031	52.1
年齢	20歳代	151	7.7
	30歳代	224	11.4
	40歳代	244	12.4
	50歳代	433	22.0
	60～64歳	245	12.4
	65歳以上	673	34.2
居住地(圏域)	仙南圏域	250	13.0
	仙台圏域	276	14.4
	大崎圏域	287	15.0
	栗原圏域	287	15.0
	登米圏域	284	14.8
	石巻圏域	279	14.5
	気仙沼・本吉圏域	256	13.3
職業	自営業・家族従業者	314	17.9
	被用者	614	35.1
	企業役員・団体代表等	35	2.0
	専業主婦(主夫)	283	16.2
	学生	17	1.0
	無職	462	26.4
	その他	26	1.5
業種別	農業	150	16.6
	林業	5	0.6
	水産業	47	5.2
	土木・建築業	66	7.3
	製造業	172	19.0
	電気・ガス・水道業	16	1.8
	情報・通信業	16	1.8
	運輸業	37	4.1
	卸・小売業	93	10.3
	金融・保険・不動産業	16	1.8
	飲食・宿泊・その他サービス業	127	14.0
	医療・福祉関連業	91	10.1
	教育・学習関連業	45	5.0
	その他	24	2.7

※各属性には不明分があるため、属性ごとの実数の合計と全体の合計とは一致しません。



2 重視度集計表

政策推進の基本方向・課題		宮城の未来をつくる33の取組					重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	計	欠損値
1 富 宮 城 の 実 現 く 県 内 総 生 産 1 0 兆 円 へ の 挑 戦 く	(1) 育成・誘致による県内製造業の集積促進	取組 1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興	683	673	228	56	290	1,930	123				
		取組 2 産学官の連携による高度技術産業の集積促進	407	700	315	72	442	1,936	117				
		取組 3 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興	695	722	179	46	279	1,921	132				
	(2) 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	取組 4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興	299	615	324	100	584	1,922	131				
		取組 5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現	606	806	222	72	239	1,945	108				
	(3) 地域経済を支える農林水産業の競争力強化	取組 6 競争力ある農林水産業への転換	452	740	253	64	424	1,933	120				
		取組 7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保	599	796	189	50	271	1,905	148				
	(4) アジアに開かれた広域経済圏の形成	取組 8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進	223	511	371	152	670	1,927	126				
		取組 9 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成	549	692	200	73	400	1,914	139				
	(5) 産業競争力の強化に向けた条件整備	取組 10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保	460	721	190	62	471	1,904	149				
		取組 11 経営力の向上と経営基盤の強化	362	648	226	74	560	1,870	183				
		取組 12 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備	569	697	187	71	382	1,906	147				
2 安 心 と 活 力 に 満 ち た 地 域 社 会 づ く り	(6) 子どもを生み育てやすい環境づくり	取組 13 次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	1,174	519	71	24	134	1,922	131				
		取組 14 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成	823	710	151	36	213	1,933	120				
	(7) 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり	取組 15 着実な学力向上と希望する進路の実現	705	700	154	54	292	1,905	148				
		取組 16 豊かな心と健やかな体の育成	843	645	137	41	254	1,920	133				
		取組 17 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり	669	718	171	54	283	1,895	158				
	(8) 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	取組 18 多様な就業機会や就業環境の創出	737	664	152	39	296	1,888	165				
		取組 19 安心できる地域医療の充実	1,184	476	53	21	175	1,909	144				
		取組 20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり	754	762	139	38	205	1,898	155				
		取組 21 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり	993	630	91	33	182	1,929	124				
		取組 22 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現	712	770	136	34	276	1,928	125				
(9) コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	取組 23 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	257	731	368	103	433	1,892	161					
	取組 24 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	281	674	321	104	523	1,903	150					
(10) だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	取組 25 安全で安心なまちづくり	501	723	236	65	381	1,906	147					
	取組 26 外国人も活躍できる地域づくり	169	602	379	164	599	1,913	140					
3 人 と 自 然 が 調 和 し た 県 土 づ く り	(11) 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	取組 27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献	607	731	132	43	393	1,906	147				
		取組 28 廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進	827	757	92	39	215	1,930	123				
	(12) 豊かな自然環境、生活環境の保全	取組 29 豊かな自然環境、生活環境の保全	556	789	180	60	330	1,915	138				
	(13) 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	取組 30 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	282	741	284	85	520	1,912	141				
	(14) 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	取組 31 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実	1,291	460	39	13	141	1,944	109				
		取組 32 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進	919	659	73	19	238	1,908	145				
		取組 33 地域ぐるみの防災体制の充実	846	709	88	17	261	1,921	132				

3 満足度集計表

政策推進の基本方向・課題		宮城の未来をつくる33の取組					満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	計	欠損値
1 富県宮城の実現 く 県内総生産10兆円への挑戦	(1) 育成・誘致による県内製造業の集積促進	取組 1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興	190	744	330	104	528	1,896	157				
		取組 2 産学官の連携による高度技術産業の集積促進	110	615	329	81	771	1,906	147				
		取組 3 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興	154	726	408	119	498	1,905	148				
	(2) 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	取組 4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興	69	488	352	105	881	1,895	158				
		取組 5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現	181	863	331	75	469	1,919	134				
	(3) 地域経済を支える農林水産業の競争力強化	取組 6 競争力ある農林水産業への転換	107	588	411	108	694	1,908	145				
		取組 7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保	154	780	352	94	504	1,884	169				
	(4) アジアに開かれた広域経済圏の形成	取組 8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進	65	407	317	109	1002	1,900	153				
		取組 9 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成	226	738	241	78	612	1,895	158				
	(5) 産業競争力の強化に向けた条件整備	取組 10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保	106	531	353	123	754	1,867	186				
		取組 11 経営力の向上と経営基盤の強化	73	453	367	136	821	1,850	203				
		取組 12 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備	174	737	280	99	582	1,872	181				
2 安心と活力に満ちた地域社会づくり	(6) 子どもを生み育てやすい環境づくり	取組 13 次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	215	602	494	248	340	1,899	154				
		取組 14 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成	178	705	352	134	520	1,889	164				
	(7) 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり	取組 15 着実な学力向上と希望する進路の実現	129	594	409	131	615	1,878	175				
		取組 16 豊かな心と健やかな体の育成	174	602	366	146	584	1,872	181				
		取組 17 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり	158	652	320	100	641	1,871	182				
	(8) 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	取組 18 多様な就業機会や就業環境の創出	112	553	401	215	589	1,870	183				
		取組 19 安心できる地域医療の充実	192	528	458	289	415	1,882	171				
		取組 20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり	175	717	324	120	538	1,874	179				
		取組 21 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり	156	628	404	213	507	1,908	145				
		取組 22 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現	137	587	342	130	708	1,904	149				
(9) コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	取組 23 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	75	581	306	88	826	1,876	177					
	取組 24 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	68	458	355	110	889	1,880	173					
(10) だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	取組 25 安全で安心なまちづくり	109	592	315	101	754	1,871	182					
	取組 26 外国人も活躍できる地域づくり	70	425	256	68	1067	1,886	167					
3 人と自然が美しく調和した県土づくり	(11) 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	取組 27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献	110	630	312	97	737	1,886	167				
		取組 28 廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進	233	786	327	89	471	1,906	147				
	(12) 豊かな自然環境、生活環境の保全	取組 29 豊かな自然環境、生活環境の保全	148	691	292	93	664	1,888	165				
	(13) 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	取組 30 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	78	518	314	79	889	1,878	175				
	(14) 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	取組 31 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実	300	754	335	106	415	1,910	143				
		取組 32 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進	190	668	308	102	600	1,868	185				
取組 33 地域ぐるみの防災体制の充実		191	687	313	75	608	1,874	179					



富県共創！
活力とやすらぎの邦づくり

本資料の内容に関する問合せ先：宮城県震災復興・企画部震災復興政策課

電 話 022-211-2406

電子メール seisaku@pref.miyagi.jp

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/seisaku/>